

8. 市政との関わり・施設の利用について

8 - 1. 「広報いるま」について

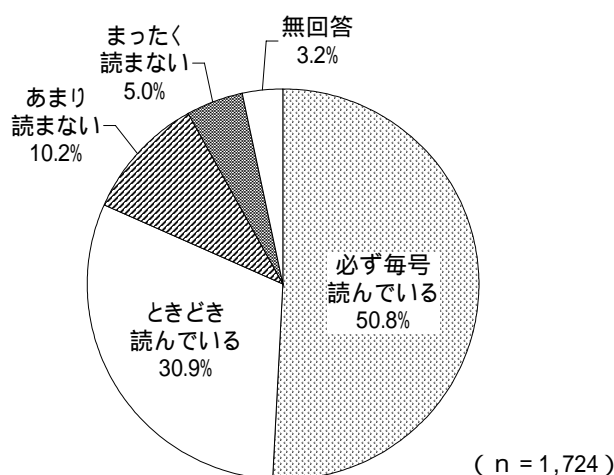
必ず毎号読んでいる人はほぼ5割で、ときどき読んでいる人と合わせると8割を超える

問 20 市では「広報いるま」を月2回発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。次の中から1つ選んでください。 (n = 1,724)

- | | | | | |
|--------------|-------|-------------|------|-----------|
| 1. 必ず毎号読んでいる | 50.8% | 3. あまり読まない | 10.2 | (無回答) 3.2 |
| 2. ときどき読んでいる | 30.9 | 4. まったく読まない | 5.0 | |

「広報いるま」をどの程度読んでいるか聞いたところ、「必ず毎号読んでいる」(50.8%)がほぼ5割で、これと「ときどき読んでいる」(30.9%)を合わせた、「広報いるま」を読んでいる割合(81.7%)は8割を超えている。(図8 - 1 - 1)

図8 - 1 - 1 「広報いるま」について



属性分析(図8 - 1 - 2)

【性別】「必ず毎号読んでいる」は女性の方が13ポイント高くなっている。

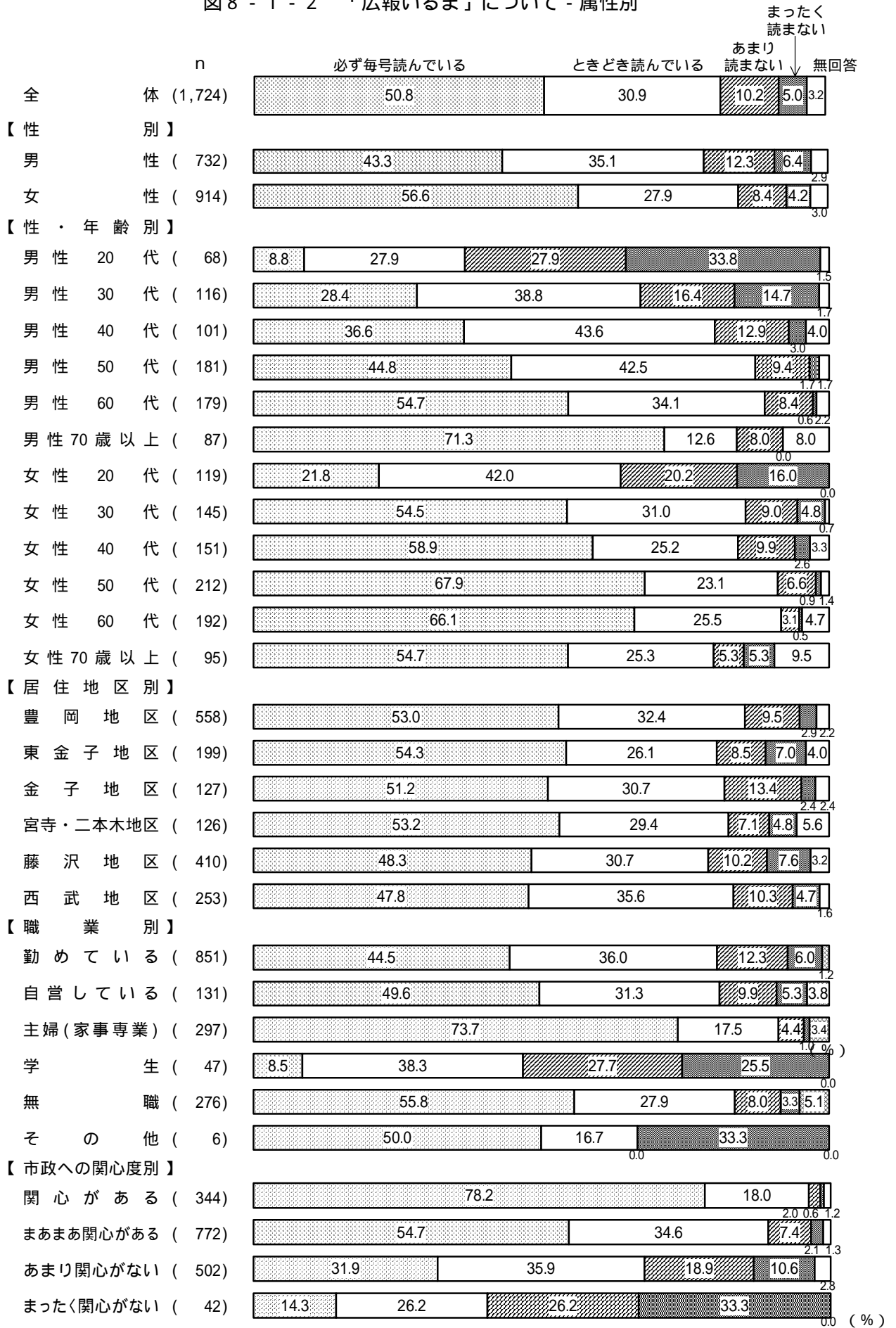
【性・年齢別】「必ず毎号読んでいる」は女性70歳以上を除いて、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。「あまり読まない」と「まったく読まない」を合わせると、男性20代(61.7%)で6割を超え、男性30代と女性20代でも3割を超えている。

【居住地区別】地区による大きな差はみられない。

【職業別】「必ず毎号読んでいる」は主婦(73.7%)で7割を超えて多くなっている。

【市政への関心度別】市政への関心が高いほど、「必ず毎号読んでいる」の割合が高くなっている。

図8 - 1 - 2 「広報いるま」について - 属性別



(1) 「広報いるま」で関心がある内容

すべての記事を読む人はほぼ5割

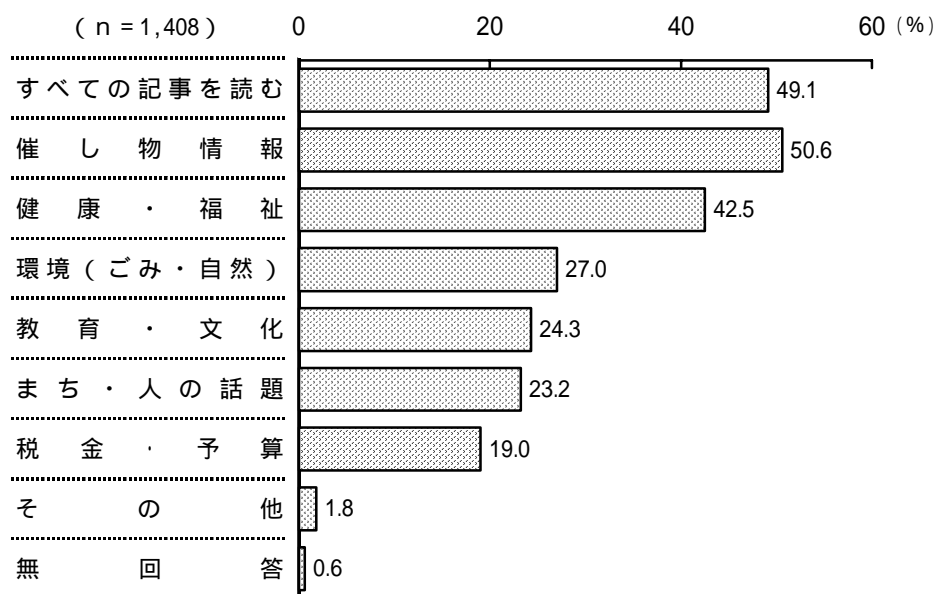
(問20で「1. 必ず毎号読んでいる」「2. ときどき読んでいる」と答えた方に)

問20-1 それでは、どのような内容に関心を持って読まれますか。次の中からいくつ
でも選んでください。 (n=1,408)

1. すべての記事を読む	49.1%	6. 催し物情報	50.6
2. 税金・予算	19.0	7. まち・人の話題	23.2
3. 健康・福祉	42.5	8. その他	1.8
4. 教育・文化	24.3	(無回答)	0.6
5. 環境(ごみ・自然)	27.0		

「広報いるま」を「必ず毎号読んでいる」または「ときどき読んでいる」と答えた人(1,408人)に、どのような内容に関心を持っているか聞いたところ、「すべての記事を読む」(49.1%)はほぼ5割で、このほかでは「催し物情報」(50.6%)、「健康・福祉」(42.5%)、「環境(ごみ・自然)」(27.0%)、「教育・文化」(24.3%)、「まち・人の話題」(23.2%)などの順となっている。(図8-1-3)

図8-1-3 「広報いるま」で関心がある内容

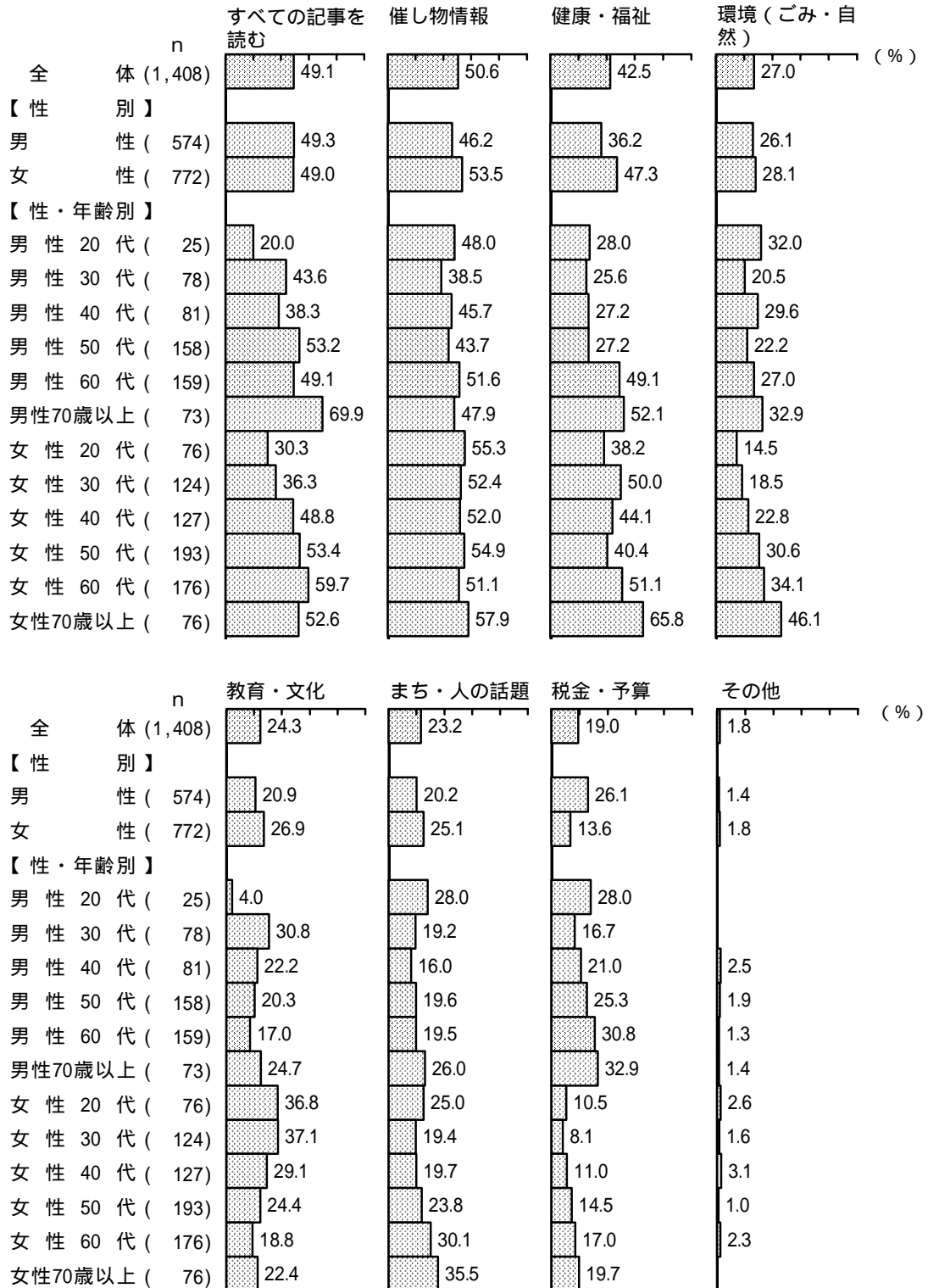


属性分析(図8-1-4)

【性別】女性の方が「健康・福祉」で11ポイント、「催し物情報」で7ポイント、「教育・文化」で6ポイント、それぞれ高く、「税金・予算」では男性の方が13ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「すべての記事を読む」は男性70歳以上(69.9%)で7割を占めて多くになっている。「健康・福祉」、「環境(ごみ・自然)」は女性70歳以上でそれぞれ多くになっている。「教育・文化」は女性20代・30代で4割近くを占めている。

図8-1-4 「広報いるま」で関心がある内容 - 属性別



(2) 「広報いるま」を読まない理由

「なんとなく」が3割半ば、「忙しいから」が2割を超える

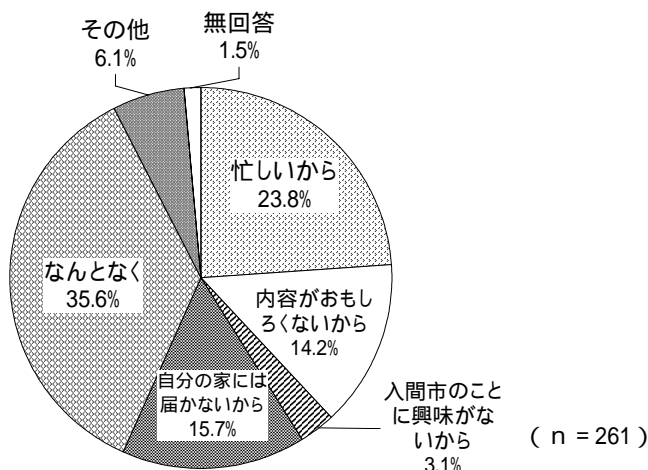
(問20で「3.あまり読まない」「4.まったく読まない」と答えた方に)

問20-2 読まないのはなぜですか。次の中から1つ選んでください。(n=261)

1. 忙しいから	23.8%	5. なんとなく	35.6%
2. 内容がおもしろくないから	14.2%	6. その他	6.1%
3. 入間市のことに興味がないから	3.1%	(無回答)	1.5%
4. 自分の家には届かないから	15.7%		

「広報いるま」を「あまり読まない」または「まったく読まない」と答えた人(261人)に、その理由を聞いたところ、「なんとなく」(35.6%)が3割半ばで最も多く、次いで「忙しいから」(23.8%)、「自分の家には届かないから」(15.7%)、「内容がおもしろくないから」(14.2%)などの順となっている。(図8-1-5)

図8-1-5 「広報いるま」を読まない理由



属性分析(図8-1-6)

【性別】「なんとなく」は男性の方が11ポイント高く、「自分の家には届かないから」は女性の方が11ポイント、「忙しいから」は女性の方が5ポイント、それぞれ高くなっている。

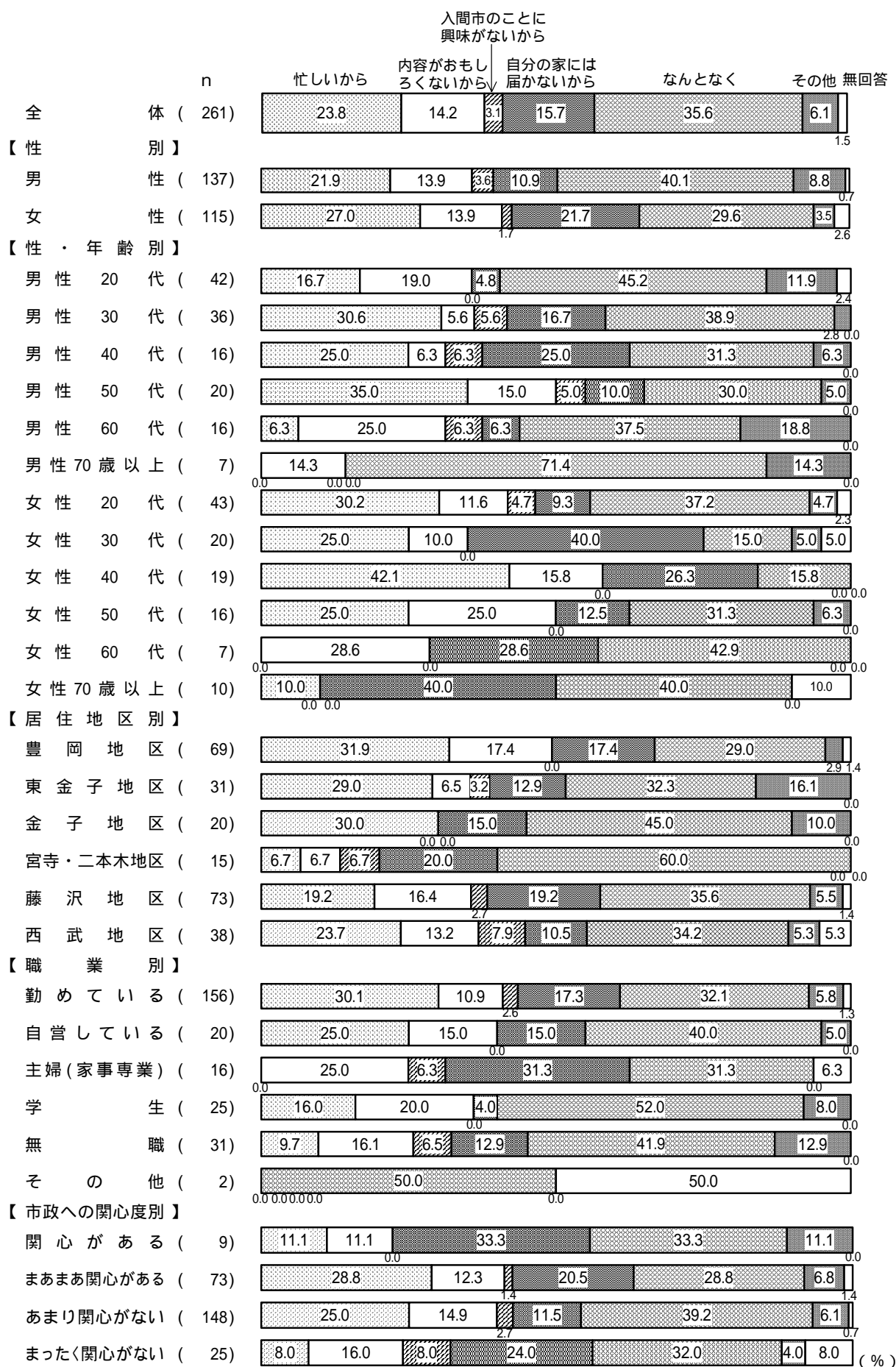
【性・年齢別】「忙しいから」は女性40代(42.1%)で4割を超えている。「自分の家には届かないから」は女性30代と70歳以上の年代(40.0%)で4割を占めている。

【居住地区別】地区による顕著な傾向の違いはみられない。

【職業別】「内容がおもしろくないから」は主婦(25.0%)で2割半ばを占め、「自分の家には届かないから」は主婦(31.3%)で3割を超えている。

【市政への関心度別】関心度による顕著な傾向の違いはみられない。

図8 - 1 - 6 「広報いるま」を読まない理由 - 属性別



8 - 2 . 「市議会だより」について

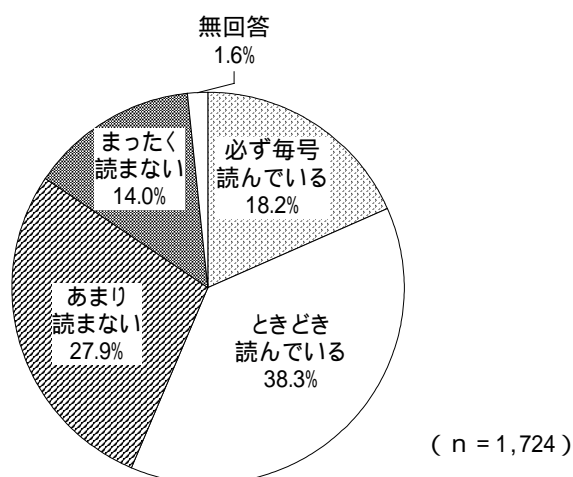
必ず毎号読んでいる人は2割近くで、ときどき読んでいる人と合わせると5割半ば

問 21 市の議会では年4回「市議会だより」を発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。次の中から1つ選んでください。 (n = 1,724)

- | | | | | | |
|---------------|-------|--------------|------|-------|-----|
| 1 . 必ず毎号読んでいる | 18.2% | 3 . あまり読まない | 27.9 | (無回答) | 1.6 |
| 2 . ときどき読んでいる | 38.3 | 4 . まったく読まない | 14.0 | | |

「市議会だより」をどの程度読んでいるか聞いたところ、「必ず毎号読んでいる」(18.2%)は2割近くで、これに「ときどき読んでいる」(38.3%)を合わせた、「市議会だより」を読んでいる人(56.5%)は5割半ばを占めている。(図8 - 2 - 1)

図8 - 2 - 1 「市議会だより」について



属性分析 (図8 - 2 - 2)

【性別】男女とも同じ傾向になっている。

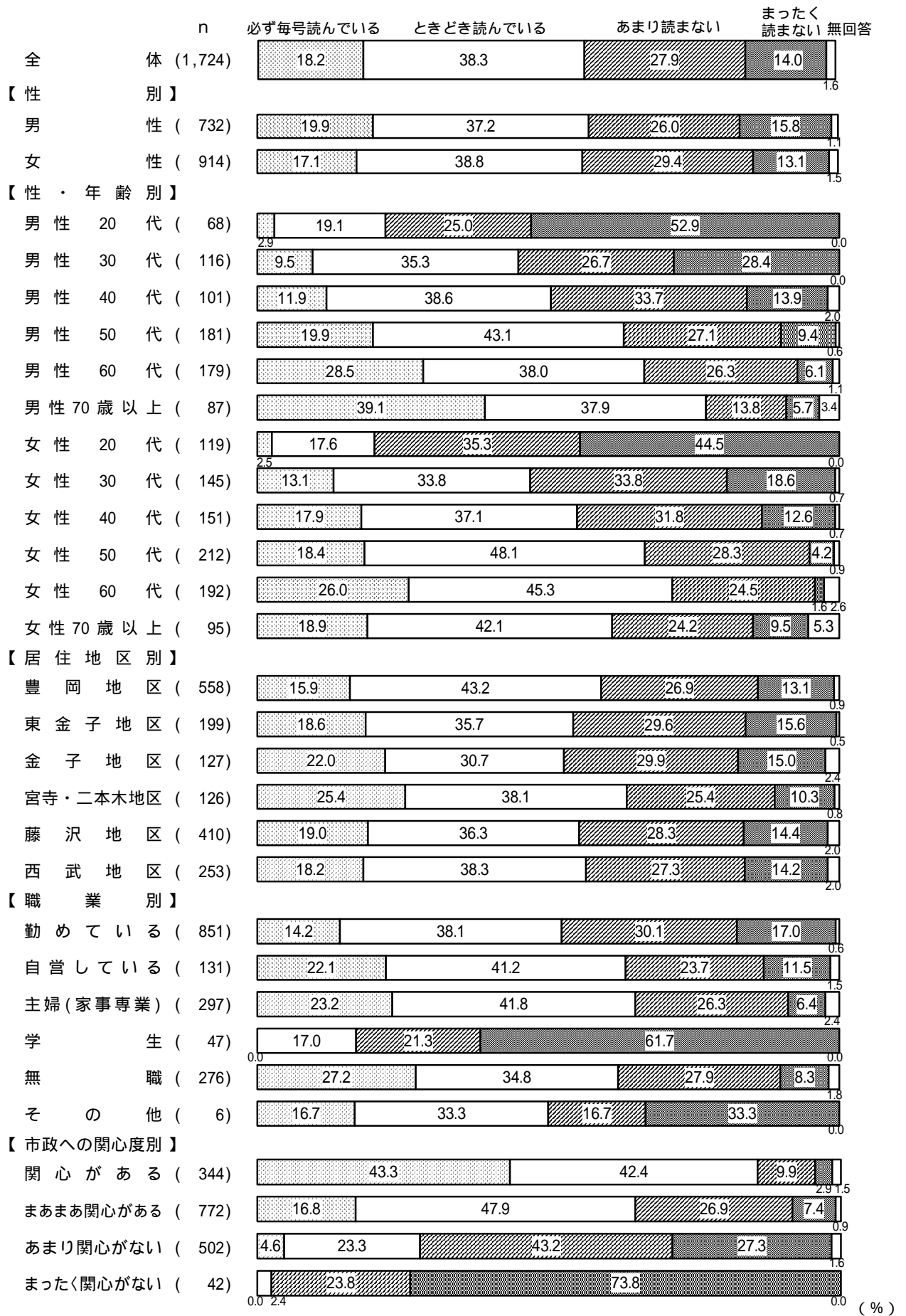
【性・年齢別】「必ず毎号読んでいる」は女性70歳以上を除いて、高い年代ほど割合が高くなっており、特に男性70歳以上(39.1%)でほぼ4割を占めている。「あまり読まない」と「まったく読まない」を合わせると、男女ともに20代で7割を超え、30代でも5割を超えている。

【居住地区別】「必ず毎号読んでいる」と「ときどき読んでいる」を合わせると、宮寺・二本木地区(63.5%)で6割を超え、他の地区に比べて多くなっている。

【職業別】「あまり読まない」と「まったく読まない」を合わせると、学生(83.0%)で8割を占めて多く、勤めている(47.1%)でも他の職業に比べると割合が高くなっている。

【市政への関心度別】市政への関心が高いほど、「必ず毎号読んでいる」の割合が高くなっている。

図8 - 2 - 2 「市議会だより」について - 属性別



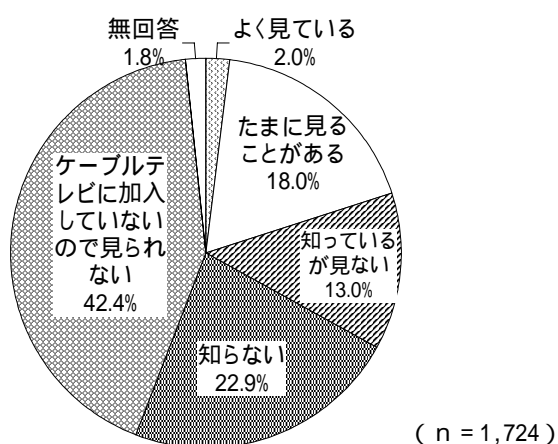
8 - 3 . 入間ケーブルテレビの市議会中継について

「よく見ている」と「たまに見ることがある」を合わせると2割

問 22 入間ケーブルテレビによる市議会のテレビ中継をご覧になったことがありますか。				
(n = 1,724)				
1 . よく見ている	2.0%	4 . 知らない		22.9
2 . たまに見ることがある	18.0	5 . ケーブルテレビに加入していないので		42.4
3 . 知っているが見ない	13.0	見られない		
				(無回答) 1.8

入間ケーブルテレビによる市議会のテレビ中継を見たことがあるか聞いたところ、「よく見ている」(2.0%)と「たまに見ることがある」(18.0%)を合わせた、『見ることがある(計)』(20.0%)は2割である。(図8 - 3 - 1)

図 8 - 3 - 1 入間ケーブルテレビの市議会中継について



属性分析 (図 8 - 3 - 2)

【性別】『見ることがある(計)』は男性の方が7ポイント高くなっている。

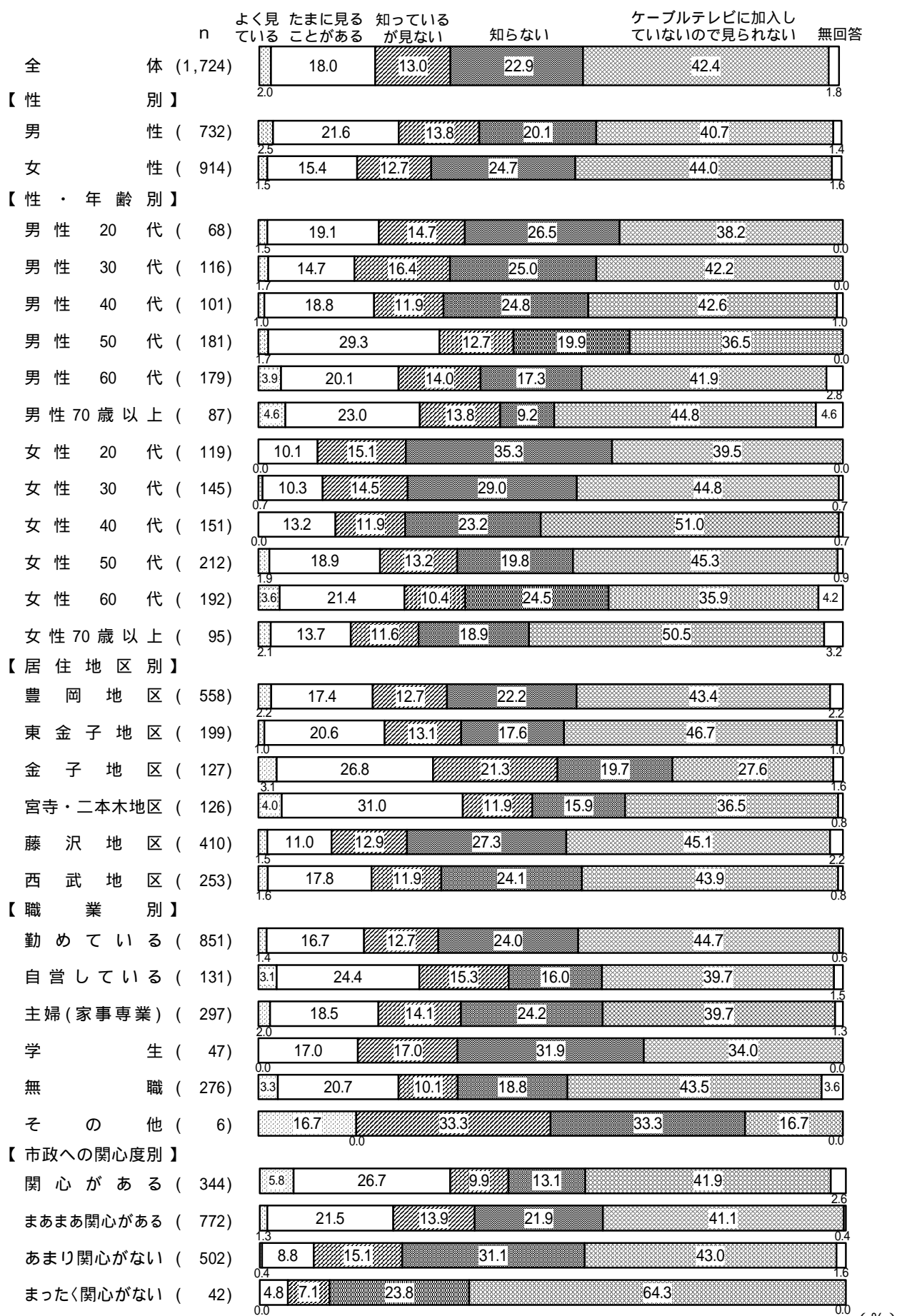
【性・年齢別】『見ることがある(計)』は男性50代(31.0%)でほぼ3割に達して最も多くなっており、男性70歳以上(27.6%)でも3割近くを占めている。

【居住地区別】『見ることがある(計)』は宮寺・二本木地区(35.0%)で3割半ば、金子地区(29.9%)で3割を占め、他の地区に比べて多くなっている。

【職業別】『見ることがある(計)』は自営している(27.5%)で3割近くを占め、他の職業に比べて多くなっている。

【市政への関心度別】市政への関心が高いほど、『見ることがある(計)』の割合が高くなっている。

図8 - 3 - 2 人間ケーブルテレビの市議会中継について - 属性別



8 - 4 . 市政への関心度

関心がある人は2割で、まあまあ関心がある人と合わせると6割半ば

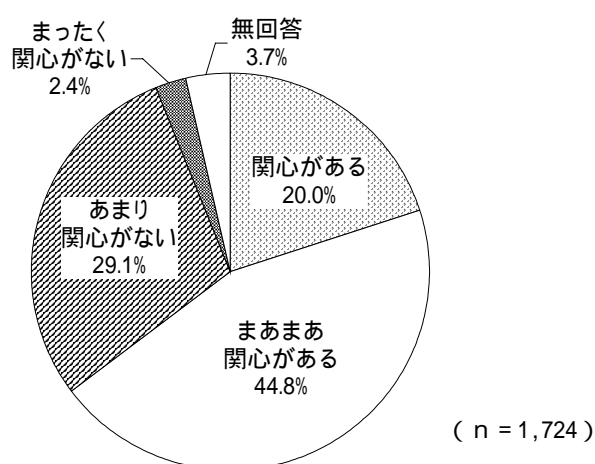
問 23 あなたは、入間市の行政にどの程度関心をお持ちになっていますか。次の中から1つを選んでください。 (n = 1,724)

1 . 関心がある	20.0%	3 . あまり関心がない	29.1	(無回答)	3.7
2 . まあまあ関心がある	44.8	4 . まったく関心がない	2.4		

市政への関心度について聞いたところ、「関心がある」(20.0%)は2割で、これに「まあまあ関心がある」(44.8%)を合わせた『関心がある(計)』(64.8%)は6割半ばである。

(図8 - 4 - 1)

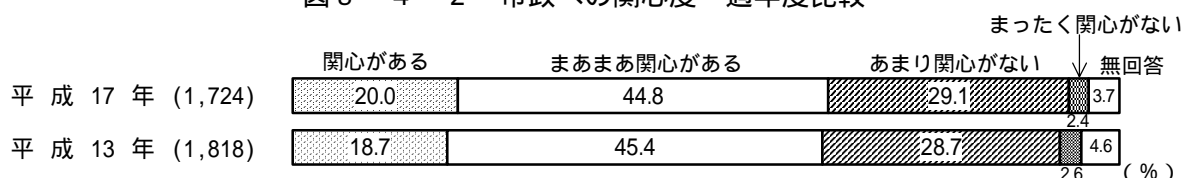
図8 - 4 - 1 市政への関心度



【過年度比較】

前回の「入間市市民意識調査」の結果と比較すると、ほぼ同じ傾向になっている。(図8 - 4 - 2)

図8 - 4 - 2 市政への関心度 - 過年度比較



属性分析 (図8 - 4 - 3)

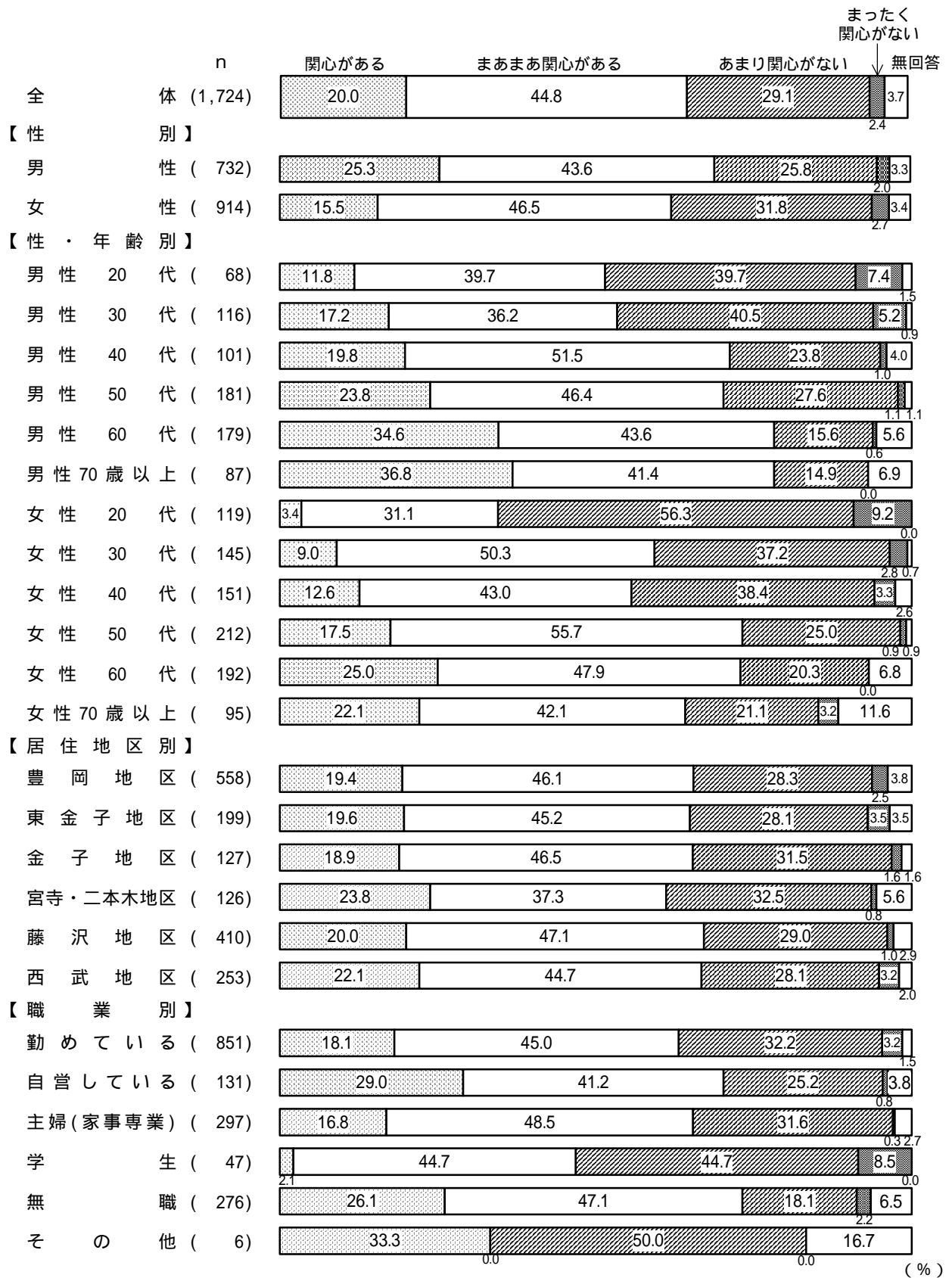
【性別】「関心がある」は男性の方が10ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「関心がある」は、女性70歳以上を除いて高い年代ほど割合が高くなっており、特に男性60代以上の年代で4割近くを占めて多くなっている。『関心がある(計)』では、男性60代以上の年代で8割近くを占めて多く、男性40代・50代と女性50代・60代でも7割を超えている。

【居住地区別】地区による差はほとんどみられない。

【職業別】『関心がある(計)』は無職(73.2%)と自営している(70.2%)で7割を超え、他の職業に比べて多くなっている。

図8 - 4 - 3 市政への関心度 - 属性別



(1) 市政に関心がある理由

「自分の暮らしむきに直接関係があるから」が6割

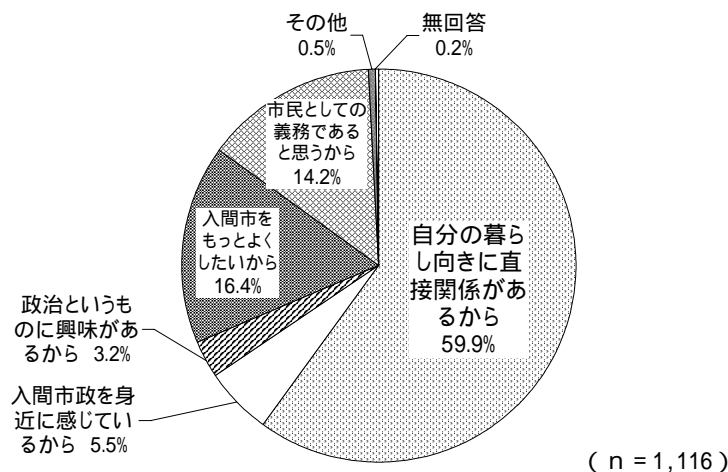
(問23で「1. 関心がある」「2. まあまあ関心がある」と答えた方に)

問23-1 市政に関心を持たれるのは、どのようなお気持ちからですか。次の中から1
つ選んでください。(n=1,116)

1. 自分の暮らし向きに直接関係があるから	59.9%
2. 入間市政を身近に感じているから	5.5
3. 政治というものに興味があるから	3.2
4. 入間市をもっとよくしたいから	16.4
5. 市民としての義務であると思うから	14.2
6. その他	0.5
(無回答)	0.2

市政に「関心がある」または「まあまあ関心がある」と答えた人(1,116人)に、その理由を聞いたところ、「自分の暮らしむきに直接関係があるから」(59.9%)が6割で特に多く、次いで「入間市をもっとよくしたいから」(16.4%)、「市民としての義務だと思うから」(14.2%)などの順となっている。(図8-4-4)

図8-4-4 市政に関心がある理由



属性分析(図8-4-5)

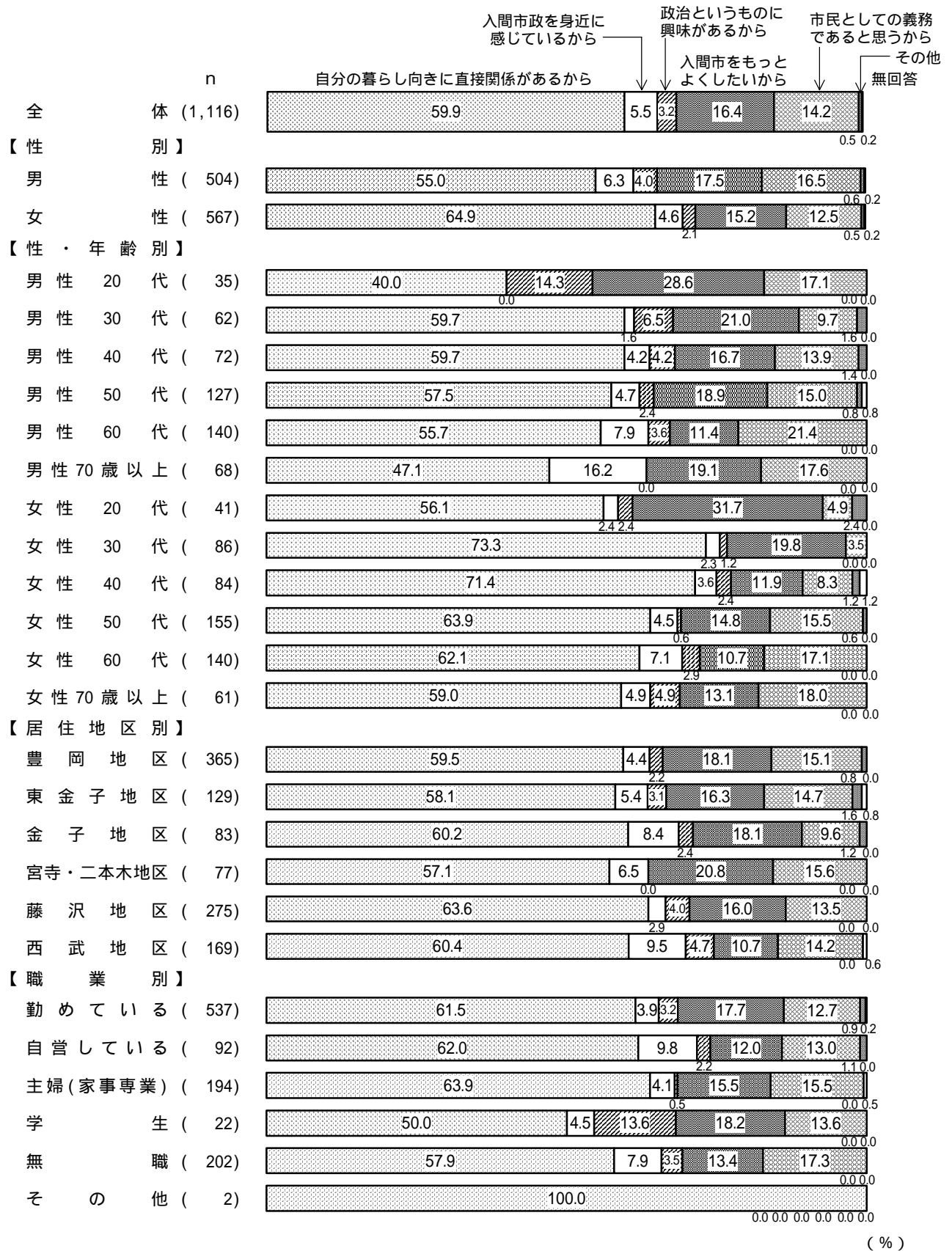
【性別】「自分の暮らしむきに直接関係があるから」は女性の方が10ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「自分の暮らしむきに直接関係があるから」は、女性30代・40代で7割を超えて多くなっている。「入間市をもっとよくしたいから」は男女とも20代で3割前後を占めて多く、「入間市政を身近に感じているから」は男性70歳以上(16.2%)で1割半ば、「政治というものに興味があるから」は男性20代(14.3%)で1割半ばを占めている。

【居住地区別】地区による顕著な傾向はみられない。

【職業別】「政治というものに興味があるから」は学生(13.6%)で他の職業に比べて多くなっている。

図8-4-5 市政に関心がある理由 - 属性別



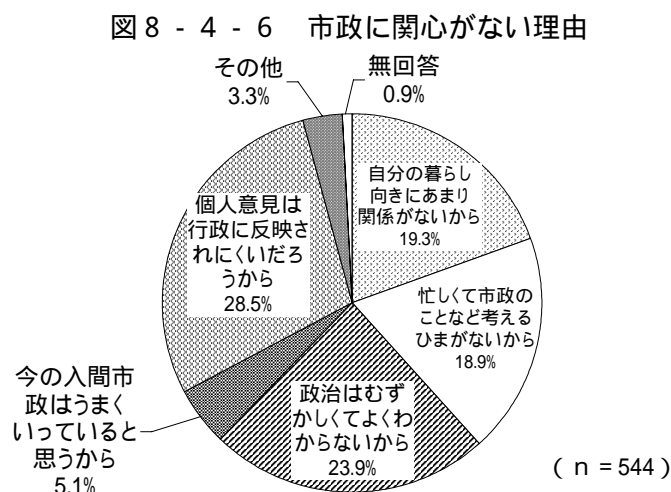
(2) 市政に関心がない理由

「個人意見は行政に反映されにくいだろうから」が3割近くで最も多い

(問 23 で「 3 . あまり関心がない」「 4 . まったく関心がない」と答えた方に)
問 23 - 2 市政に関心がない理由は、どのようなお気持ちからですか。次の中から 1 つ
選んでください。 (n = 544)

1 . 自分の暮らし向きにあまり関係がないから	19.3%
2 . 忙しくて市政のことなど考えるひまがないから	18.9
3 . 政治はむずかしくてよくわからないから	23.9
4 . 今の入間市政はうまくいっていると思うから	5.1
5 . 個人意見は行政に反映されにくいだろうから	28.5
6 . その他	3.3
(無回答)	0.9

市政に「あまり関心がない」または「まったく関心がない」と答えた人(544人)に、その理由を聞いたところ、「個人意見は行政に反映されにくいだろうから」(28.5%)が3割近くで最も多く、次いで「政治はむずかしくてよくわからないから」(23.9%)、「自分の暮らし向きにあまり関係がないから」(19.3%)、「忙しくて市政のことなど考えるひまがないから」(18.9%)などの順となっている。(図8-4-6)



属性分析 (図 8 - 4 - 7)

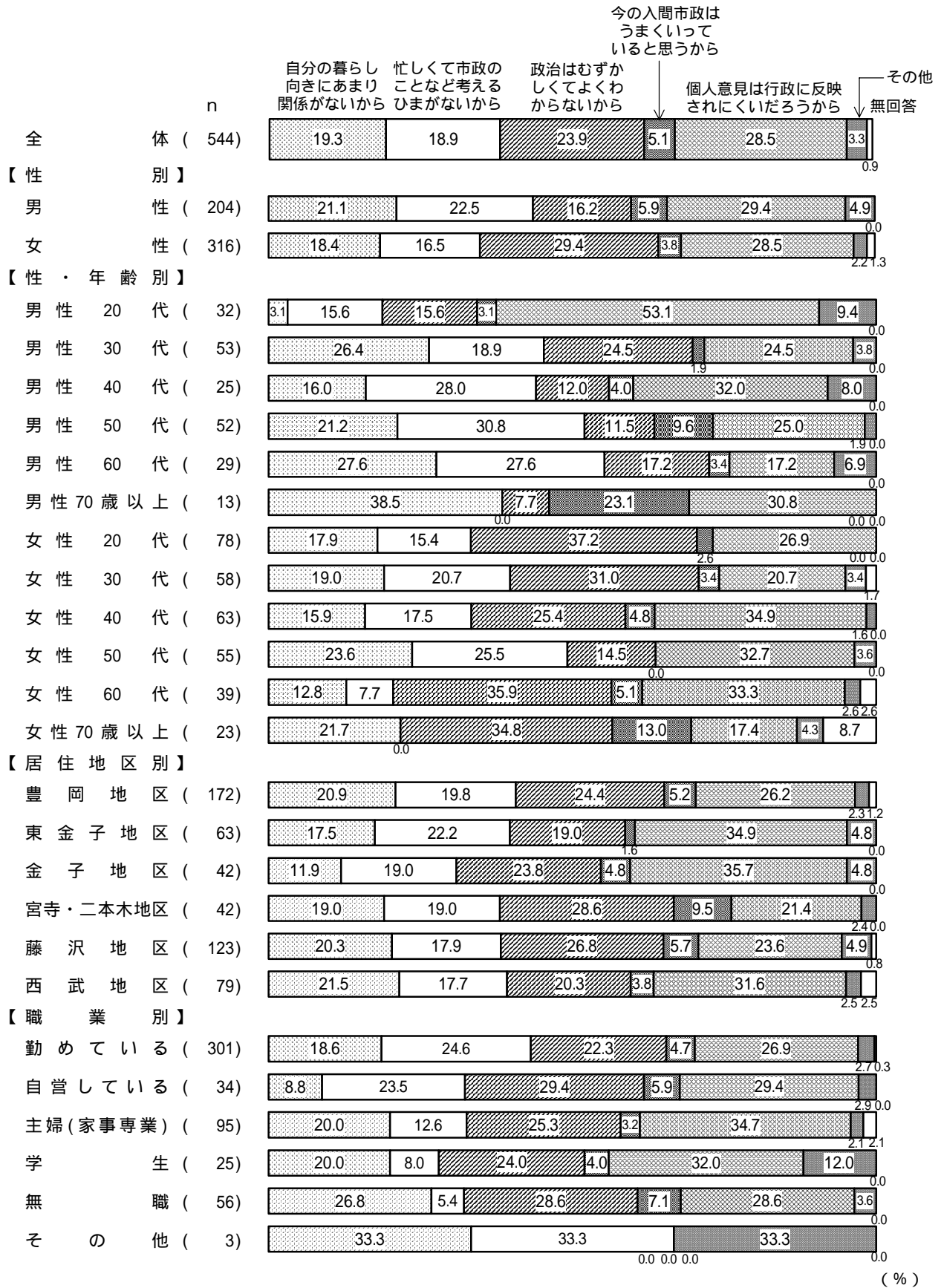
【性別】「政治はむずかしくてよくわからないから」は女性の方が13ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「個人意見は行政に反映されにくいだろうから」は男性20代(53.1%)で5割を超えて多くなっている。「自分の暮らしむきにあまり関係がないから」は男性70歳以上(38.5%)で4割近くを占め、「忙しくて市政のことなど考えるひまがないから」は男性40代から60代の年代で3割前後を占めている。

【居住地区別】地区による顕著な傾向はみられない。

【職業別】職業による顕著な傾向はみられない。

図8-4-7 市政に関心がない理由 - 属性別



8 - 5 . 市政の情報源

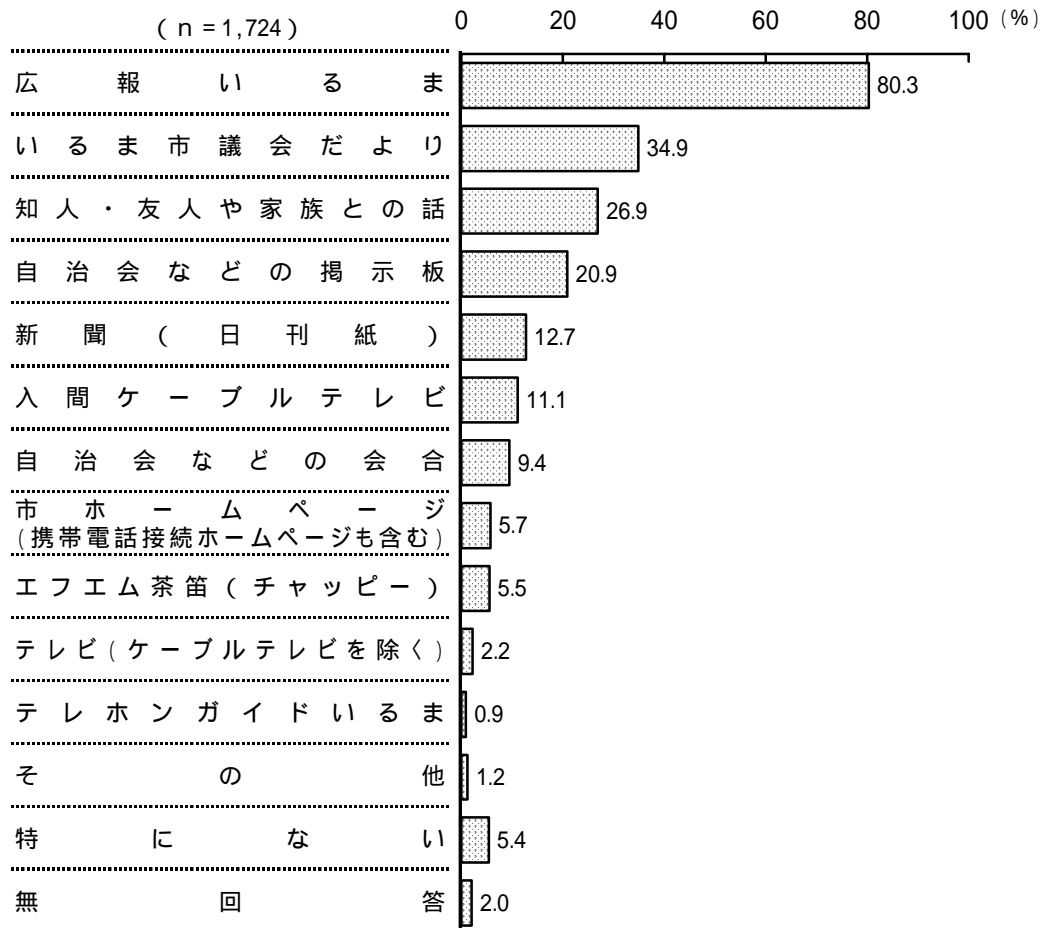
「広報いるま」が8割、「いるま市議会だより」が3割半ば

問 24 あなたは、入間市政の動きや市の仕事・行事などについて、主に何から情報を得ていますか。次の中から3つまで選んでください。 (n = 1,724)

1 . 広報いるま	80.3%	8 . 自治会などの会合	9.4
2 . エフエム茶笛 (チャッピー)	5.5	9 . 知人・友人や家族との話	26.9
3 . 入間ケーブルテレビ	11.1	10 . 新聞 (日刊紙)	12.7
4 . いるま市議会だより	34.9	11 . テレビ (ケーブルテレビを除く)	2.2
5 . テレホンガイドいるま	0.9	12 . その他	1.2
6 . 市ホームページ (携帯電話接続ホームページも含む)	5.7	13 . 特にない	5.4
7 . 自治会などの掲示板	20.9	(無回答)	2.0

市政の動きや市の仕事・行事などについて何から情報を得ているか聞いたところ、「広報いるま」(80.3%)が8割で特に多く、次いで「いるま市議会だより」(34.9%)、「知人・友人や家族との話」(26.9%)、「自治会などの掲示板」(20.9%)、「新聞(日刊紙)」(12.7%)などの順となっている。(図8-5-1)

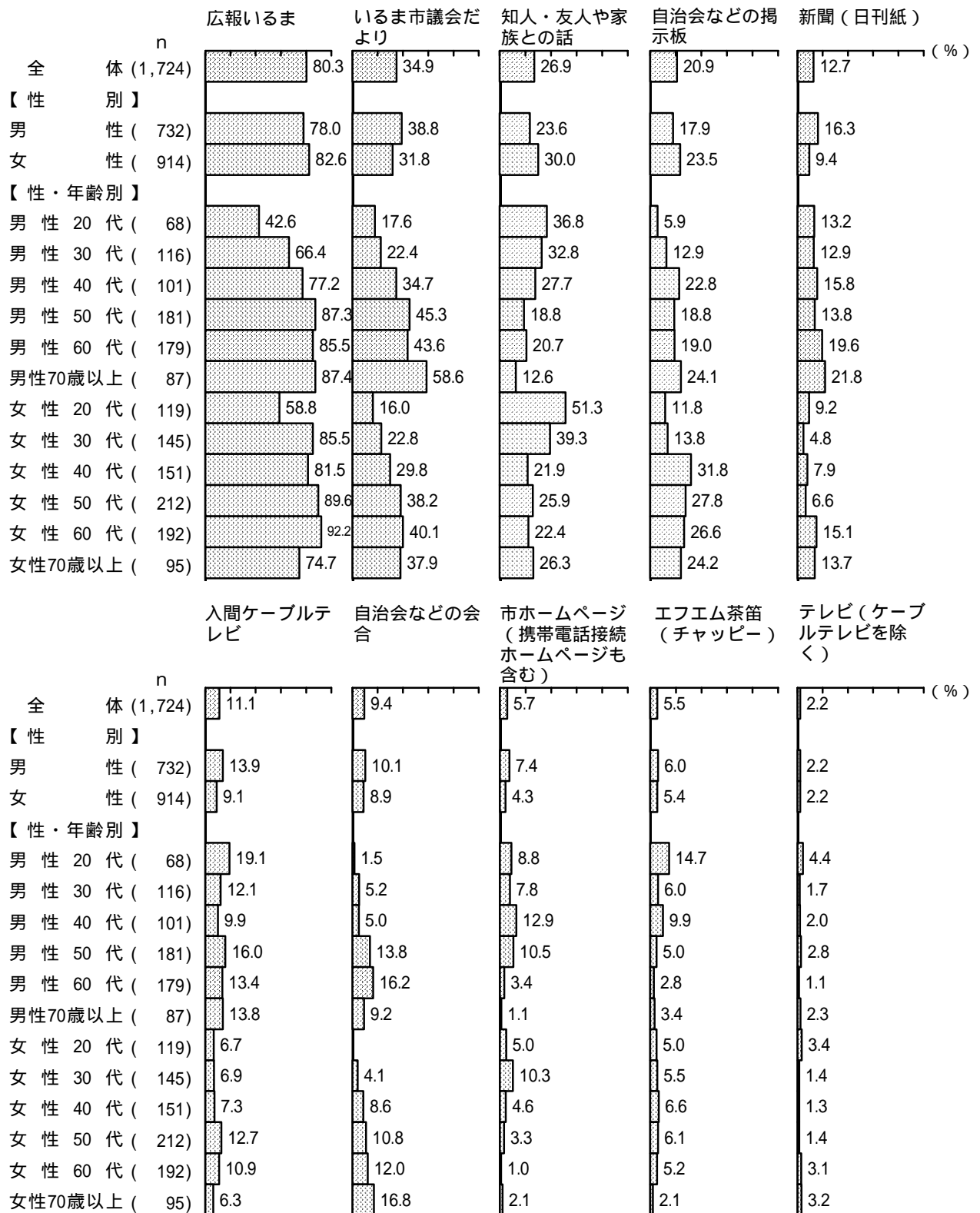
図 8 - 5 - 1 市政の情報源



属性分析（上位10項目）（図8-5-2）

【性・年齢別】「いるま市議会だより」は、男性70歳以上（58.6%）で6割近くを占めて多くなっている。「知人・友人や家族との話」は女性20代（51.3%）で5割を超えて多く、男性20代と女性30代でも4割近くを占めている。

図8-5-2 市政の情報源 - 属性別（上位10項目）



8 - 6 . 市政情報の取得度

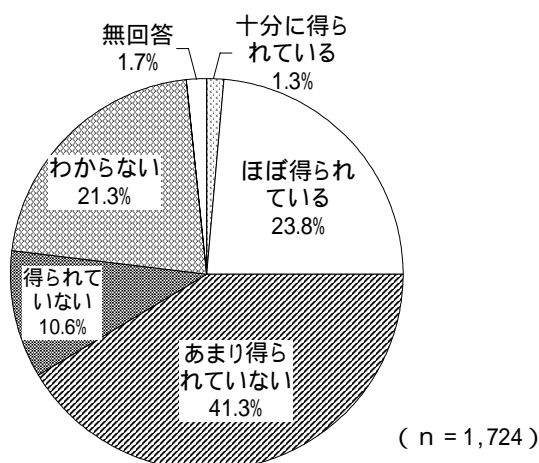
「十分に得られている」と「ほぼ得られている」を合わせると2割半ば

問 25 では、現在市政に関する情報を、あなたは十分得られていると思いますか。次の中から1つ選んでください。 (n = 1,724)

1 . 十分に得られている	1.3%	4 . 得られていない	10.6
2 . ほぼ得られている	23.8	5 . わからない	21.3
3 . あまり得られていない	41.3	(無回答)	1.7

市政に関する情報を十分得られていると思うか聞いたところ、「十分に得られている」(1.3%)はわずかで、これに「ほぼ得られている」(23.8%)を合わせた『得られている(計)』(25.1%)は2割半ばである。「あまり得られていない」(41.3%)と「得られていない」(10.6%)を合わせた『得られていない(計)』(51.9%)が5割を超えて多くなっている。(図8 - 6 - 1)

図 8 - 6 - 1 市政情報の取得度



属性分析 (図 8 - 6 - 2)

【性別】『得られている(計)』は男性の方が5ポイント高くなっている。

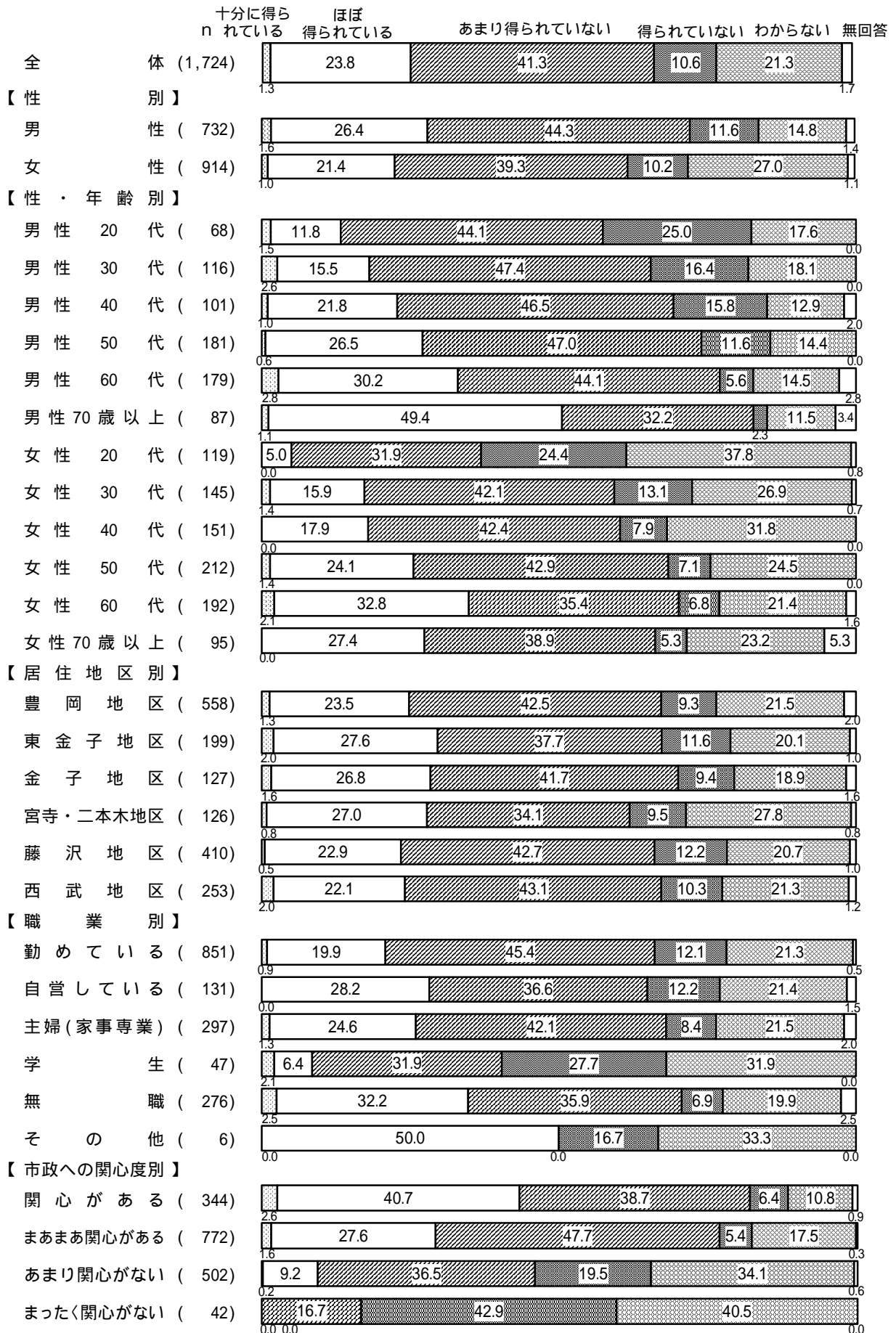
【性・年齢別】『得られている(計)』は女性70歳以上を除いて、高い年代ほど割合が高くなり、特に男性70歳以上(50.5%)ではほぼ5割に達して多くなっている。

【居住地区別】地区による顕著な傾向はみられない。

【職業別】『得られている(計)』は無職(34.7%)で3割半ばを占め、他の職業に比べて割合が高くなっている。

【市政への関心度別】市政への関心が高いほど、『得られている(計)』の割合が高くなっている。

図8 - 6 - 2 市政情報の取得度 - 属性別



(%)

8 - 7 . 市政への市民の意見の反映

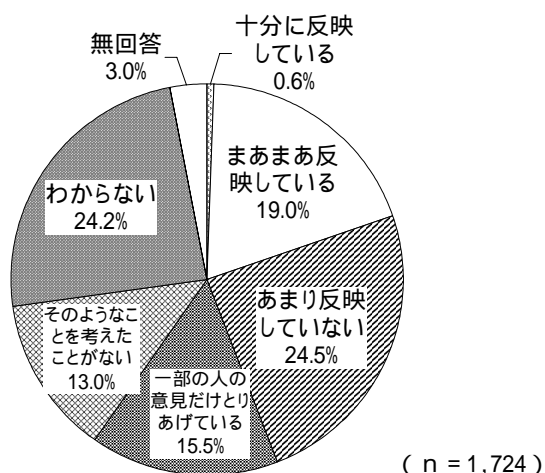
「十分に反映している」と「まあまあ反映している」を合わせると2割

問 26 あなたは、市の行政は市民の意見や要望などを反映していると思いますか。次の中から1つ選んでください。 (n = 1,724)

1 . 十分に反映している	0.6%	4 . 一部の人の意見だけとりあげている	15.5
2 . まあまあ反映している	19.0	5 . そのようなことを考えたことがない	13.0
3 . あまり反映していない	24.5	6 . わからない	24.2
		(無回答)	3.0

市政が市民の意見や要望などを反映していると思うか聞いたところ、「十分に反映している」(0.6%)はわずかで、これに「まあまあ反映している」(19.0%)を合わせた『反映している(計)』(19.6%)は2割である。「あまり反映していない」(24.5%)は2割半ばを占め、「一部の人の意見だけとりあげている」(15.5%)も1割半ばを占めている。(図8 - 7 - 1)

図8 - 7 - 1 市政への市民の意見の反映



属性分析 (図8 - 7 - 2)

【性別】『反映している(計)』は男性の方が8ポイント高くなっている。

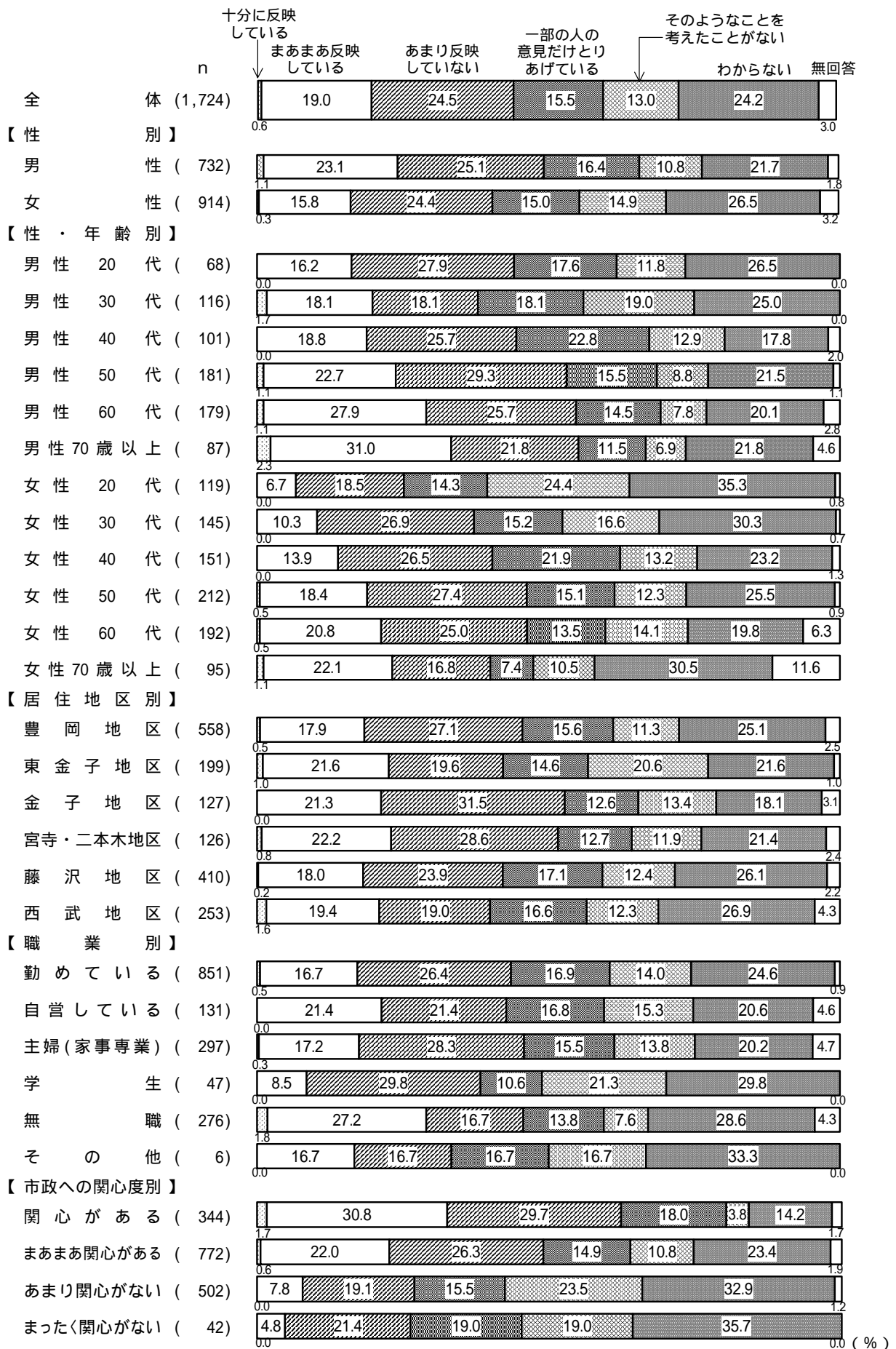
【性・年齢別】『反映している(計)』は高い年代ほど割合が高くなっており、特に男性70歳以上(33.3%)では3割を超えている。「一部の人の意見だけとりあげている」は男女とも40代で2割を超え、他の世代に比べて最も割合が高くなっている。

【居住地区別】地区による顕著な傾向はみられない。

【職業別】『反映している(計)』は無職(29.0%)でほぼ3割を占め、他の職業に比べて割合が高くなっている。

【市政への関心度別】市政への関心が高いほど、『反映している(計)』の割合が高くなっている。

図8-7-2 市政への市民の意見の反映 - 属性別



8 - 8 . 広聴手段の利用度

施設見学会と市民相談を利用したことがある人が1割

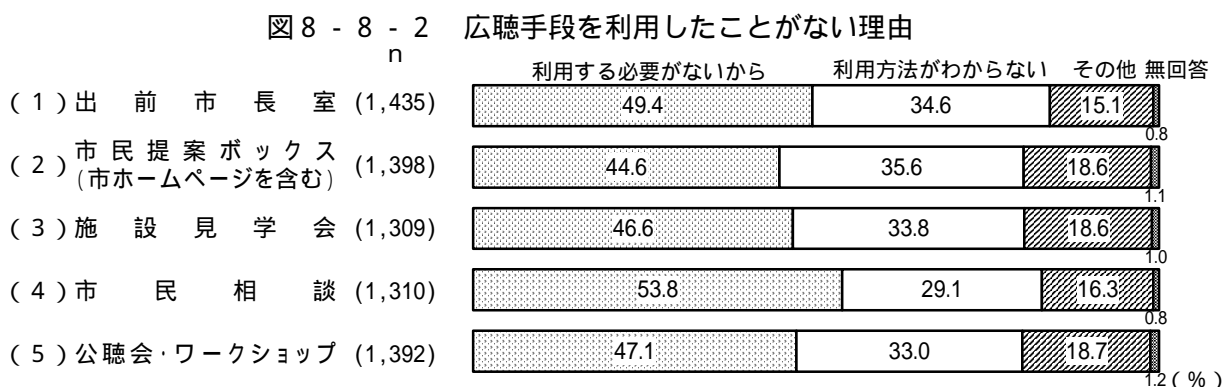
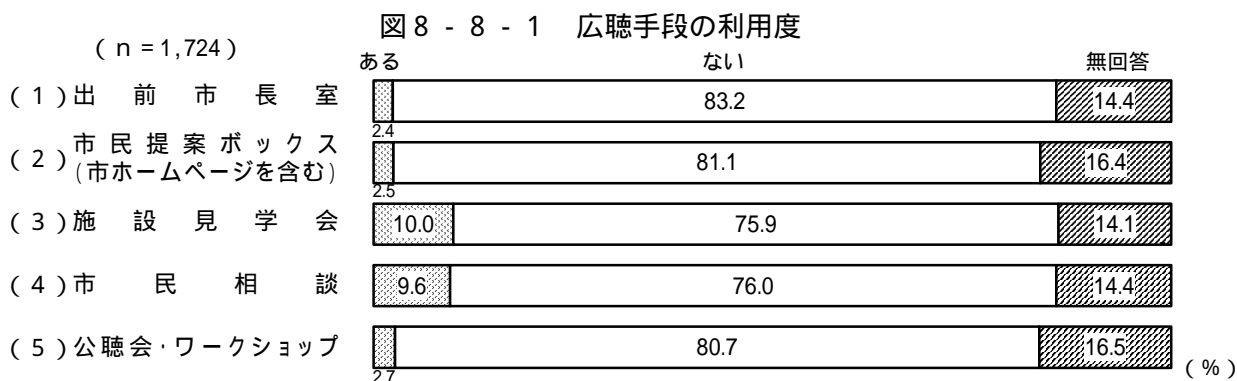
問 27 入間市では、市民の意見や要望を市政に反映させるため、次のような活動を行っています。あなたはこれらを利用（または参加）したことがありますか。また、利用したことがないのはなぜですか。

（ア）利用の有無で「2. ない」と回答した方は、（イ）利用したことがない理由をお答えください。

(n=1,724)	(ア) 利用の有無		(無回答)	(イ) 利用したことがない理由			(無回答)
	あ る	な い		利用する 必要 がない から	利用 方法が わから ない	そ 他	
(1) 出前市長室	2.4	83.2	14.4	49.4	34.6	15.1	0.8
(2) 市民提案ボックス(市ホームページを含む)	2.5	81.1	16.4	44.6	35.6	18.6	1.1
(3) 施設見学会	10.0	75.9	14.1	46.6	33.8	18.6	1.0
(4) 市民相談	9.6	76.0	14.4	53.8	29.1	16.3	0.8
(5) 公聴会・ワークショップ	2.7	80.7	16.5	47.1	33.0	18.7	1.2

市の広聴制度の利用の有無について聞いたところ、利用または参加したことが「ある」制度は、「施設見学会」(10.0%)と「市民相談」(9.6%)で1割で、それ以外ではわずかである。(図8-8-1)

利用したまたは参加したことが「ない」と答えたそれぞれの制度について、その理由を聞いたところ、いずれの制度についても、「利用する必要がないから」が4割半ばから5割半ばを占め、「利用方法がわからない」も3割から3割半ばに達している。(図8-8-2)

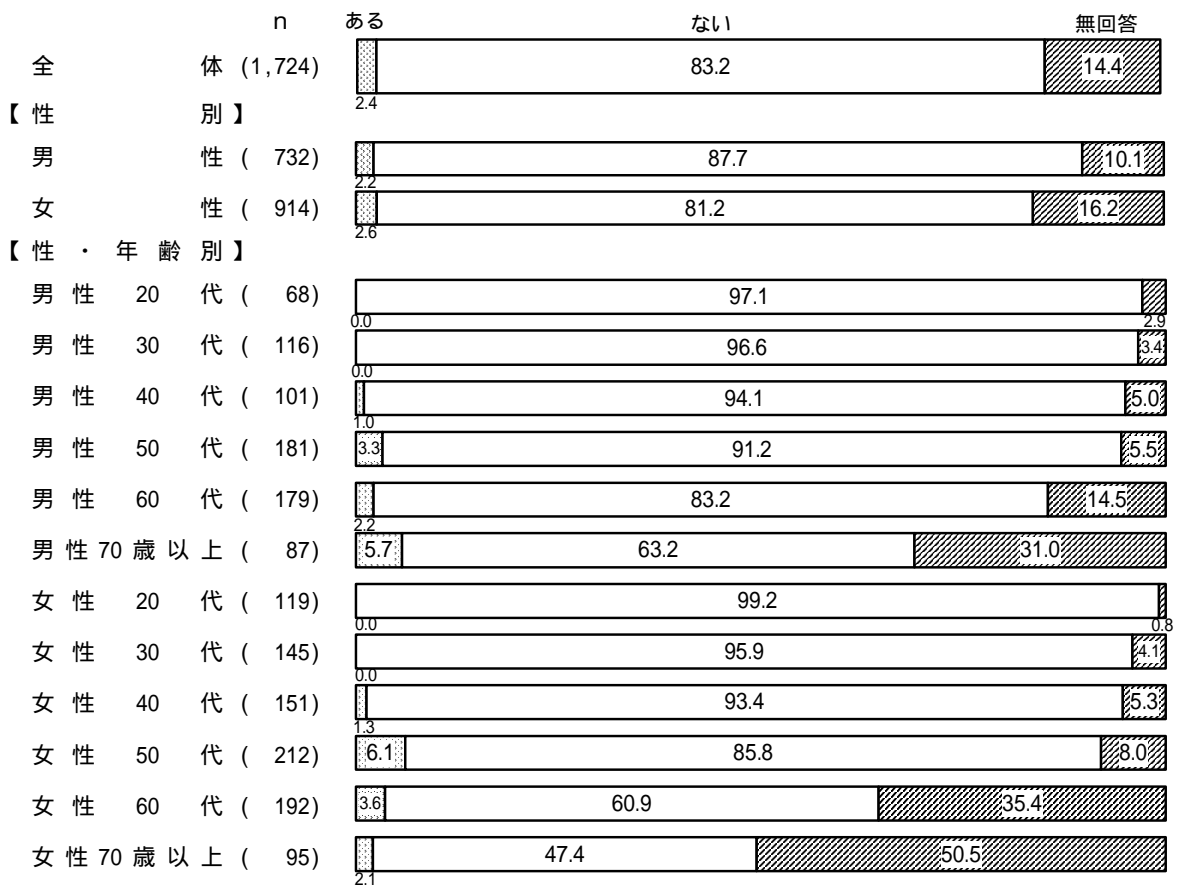


広聴手段の利用度（１）出前市長室 / 属性分析（図 8 - 8 - 3）

【性別】男女ともほぼ同じ傾向になっている。

【性・年齢別】「ある」は女性 50 代（6.1%）と男性 70 歳以上（5.7%）で他の年代より割合が高くなっている。

図 8 - 8 - 3 広聴手段の利用度（１）出前市長室 - 属性別



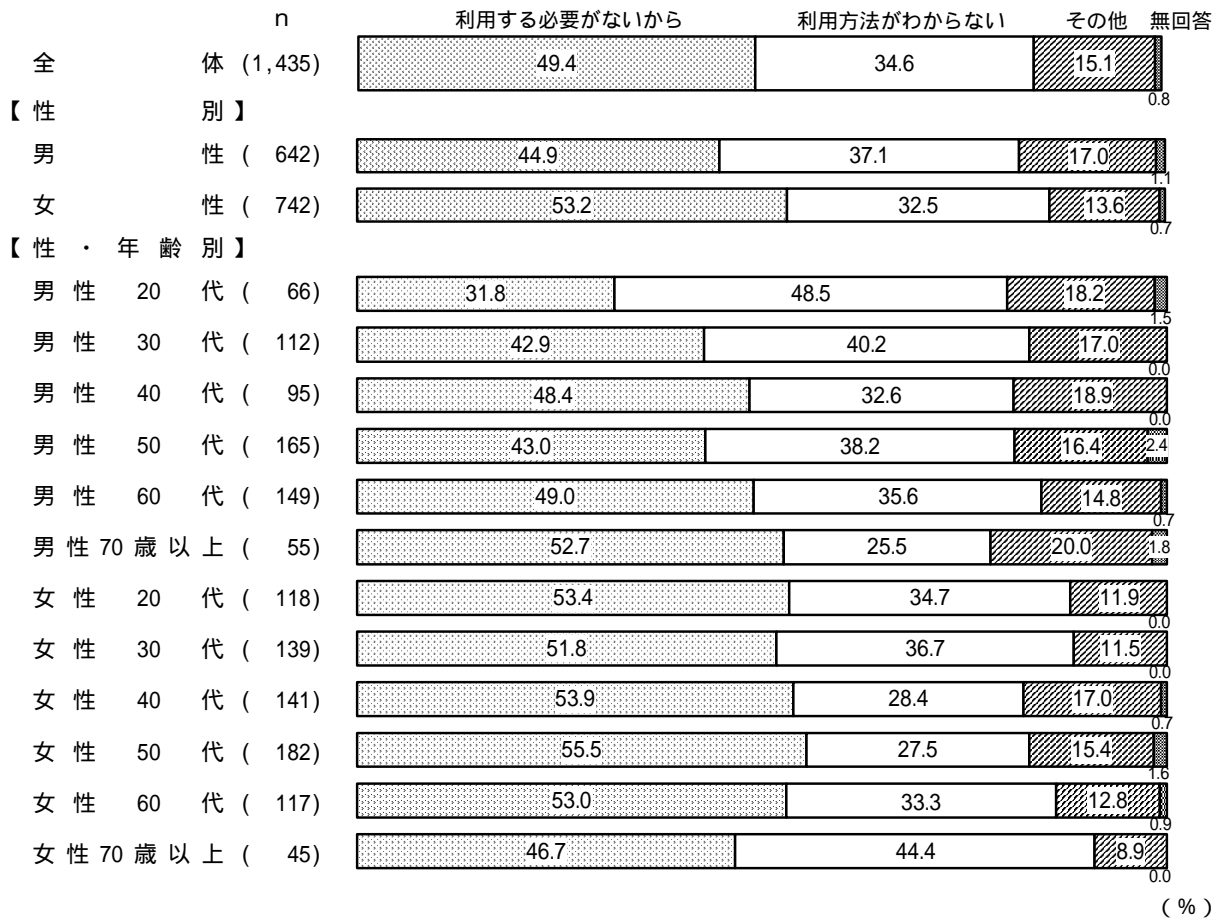
(%)

広聴手段を利用したことがない理由（１）出前市長室 / 属性分析（図 8 - 8 - 4）

【性別】「利用する必要があるから」は女性の方が 8 ポイント高くなっている。「利用方法がわからない」は男性の方が 5 ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「利用方法がわからない」は男性 20 代（48.5%）と女性 70 歳以上（44.4%）で 4 割を超え、他の年代より割合が高くなっている。

図 8 - 8 - 4 広聴手段を利用したことがない理由（１）出前市長室 - 属性別



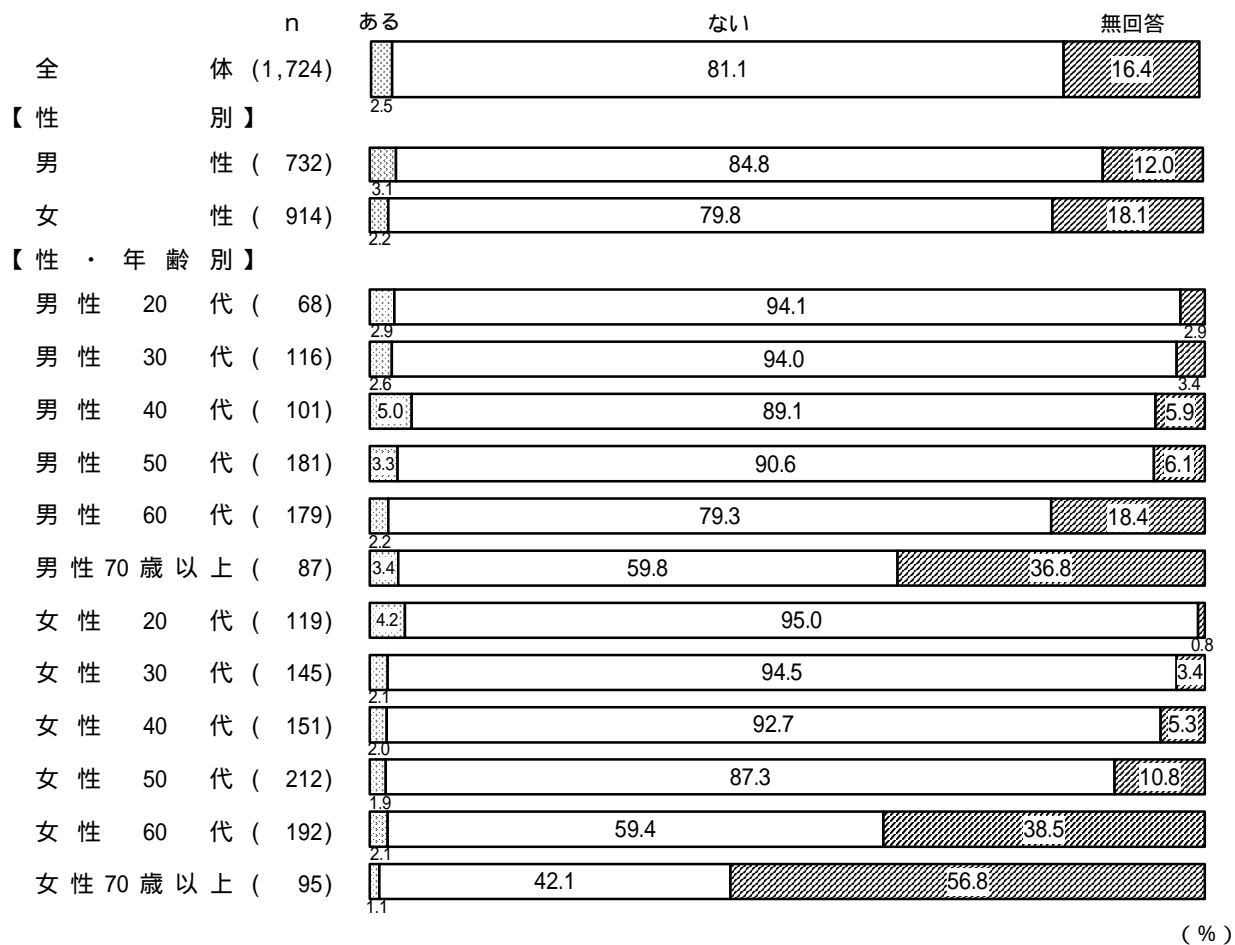
(%)

広聴手段の利用度(2) 市民提案ボックス(市ホームページを含む) / 属性分析(図8-8-5)

【性別】男女ともほぼ同じ傾向になっている。

【性・年齢別】「ある」は男性40代(5.0%)で他の年代より割合が高くなっている。

図8-8-5 広聴手段の利用度(2) 市民提案ボックス(市ホームページを含む) - 属性別



(%)

広聴手段を利用したことがない理由

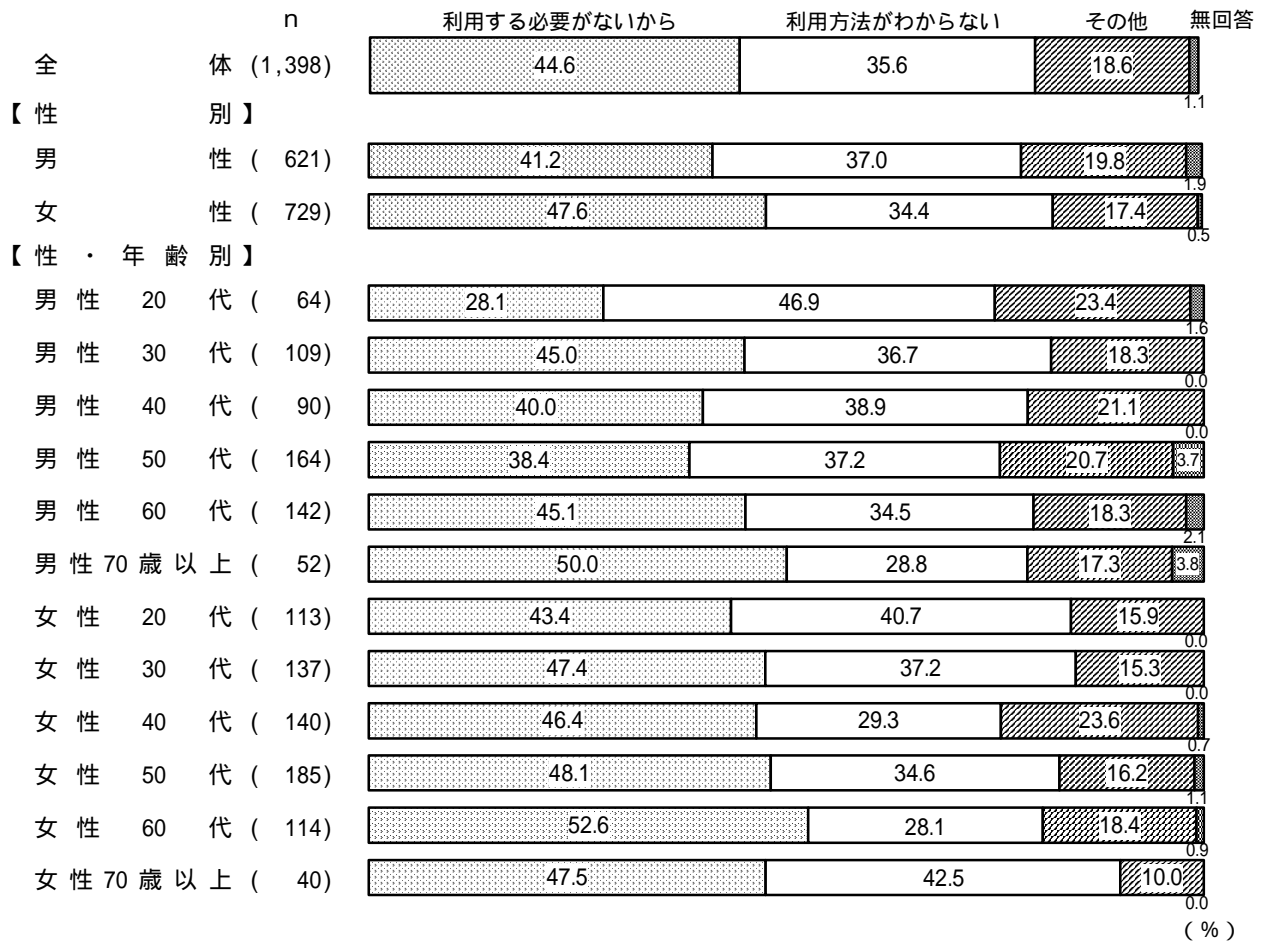
(2) 市民提案ボックス(市ホームページを含む)/属性分析(図8-8-6)

【性別】「利用する必要がないから」は女性の方が6ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「利用方法がわからない」は男性20代(46.9%)で5割近くを占め、他の年代より割合が高くなっている。

図8-8-6 広聴手段を利用したことがない理由

(2) 市民提案ボックス(市ホームページを含む) - 属性別

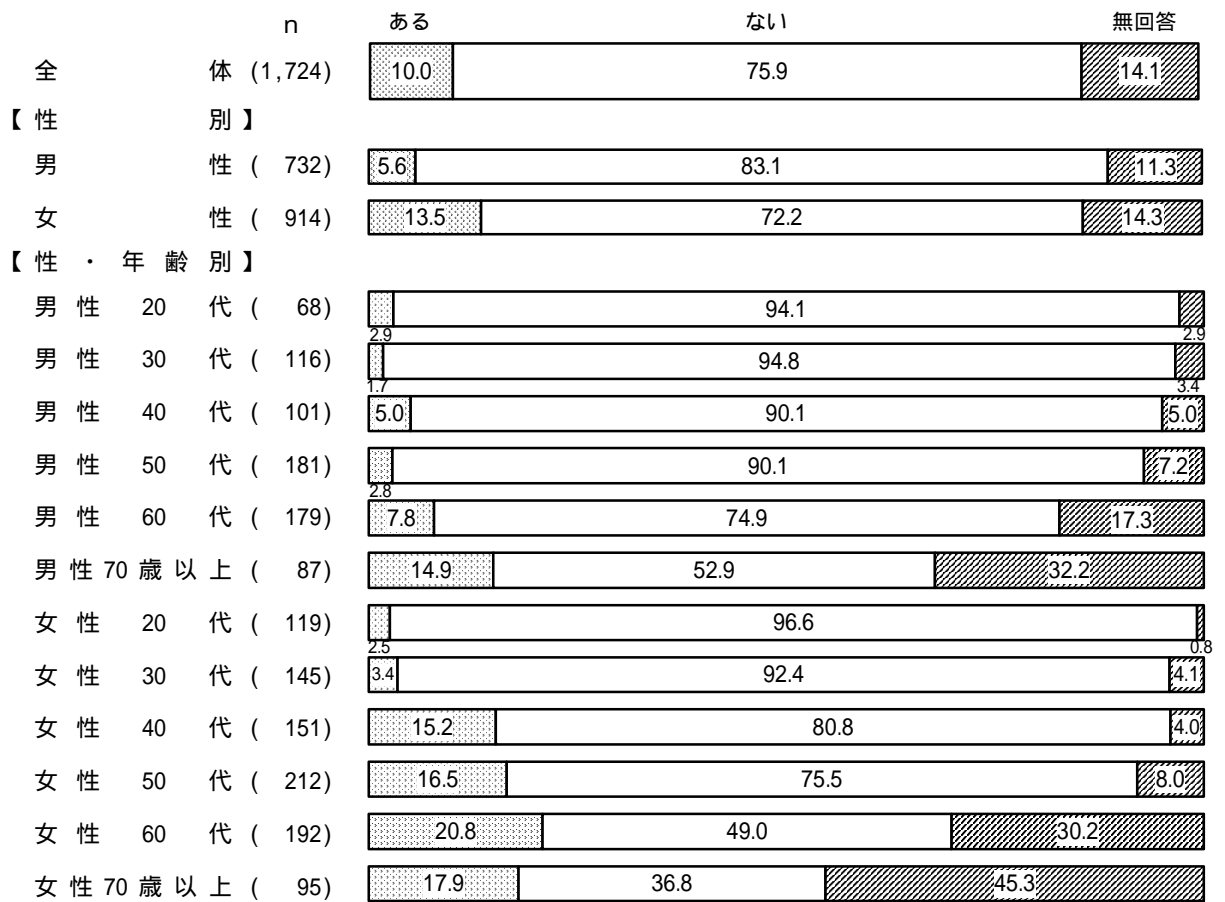


広聴手段の利用度（3）施設見学会 / 属性分析（図8 - 8 - 7）

【性別】「ある」は女性の方が8ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「ある」は女性60代（20.8%）で2割を超えて多く、女性40代・50代・70歳以上の各年代でも2割近くを占めている。

図8 - 8 - 7 広聴手段の利用度（3）施設見学会 - 属性別



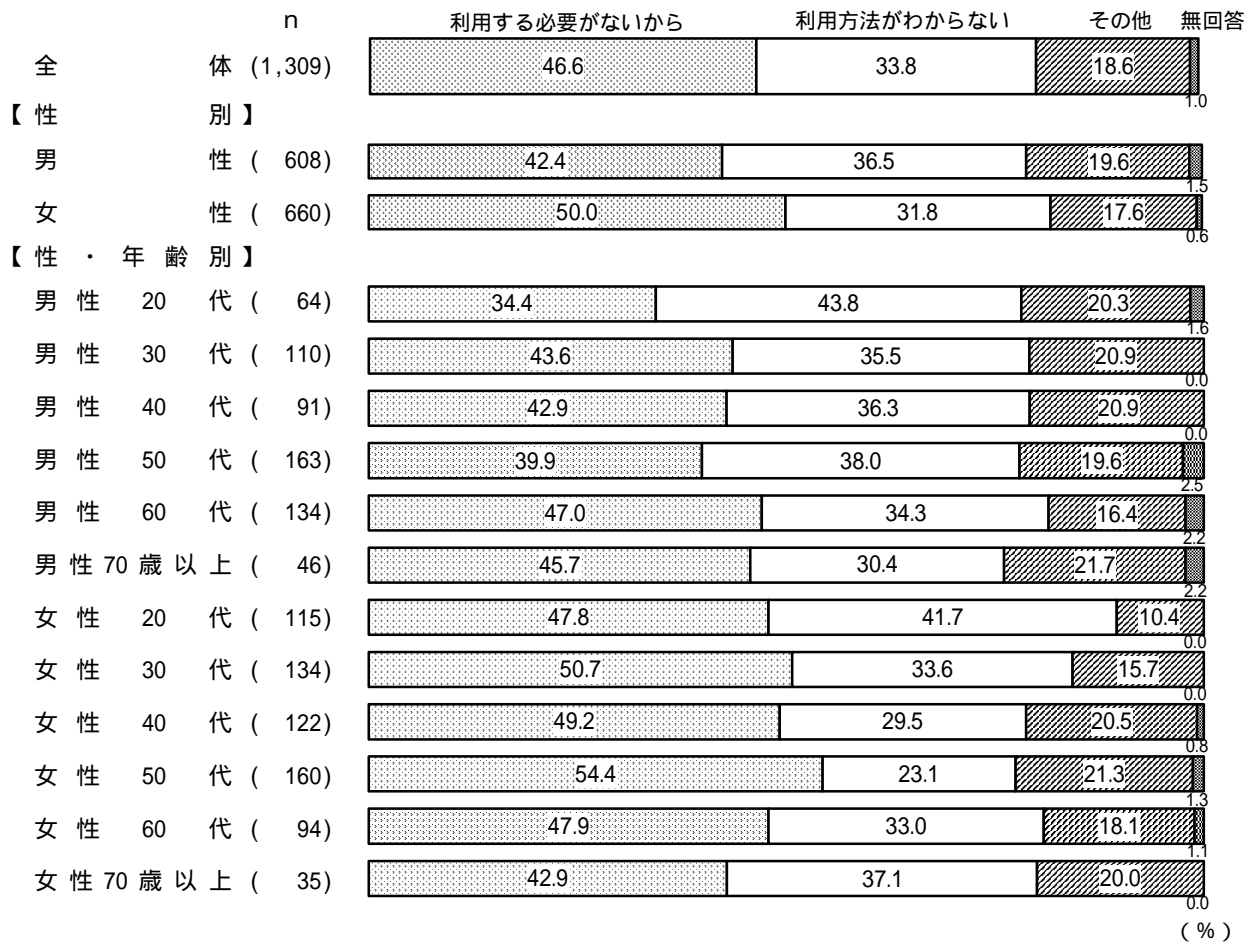
(%)

広聴手段を利用したことがない理由（３）施設見学会 / 属性分析（図 8 - 8 - 8）

【性別】「利用する必要があるから」は女性の方が 8 ポイント高くなっている。「利用方法がわからない」は男性の方が 5 ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「利用方法がわからない」は男女とも 20 代で 4 割を超え、他の年代より割合が高くなっている。

図 8 - 8 - 8 広聴手段を利用したことがない理由（３）施設見学会 - 属性別



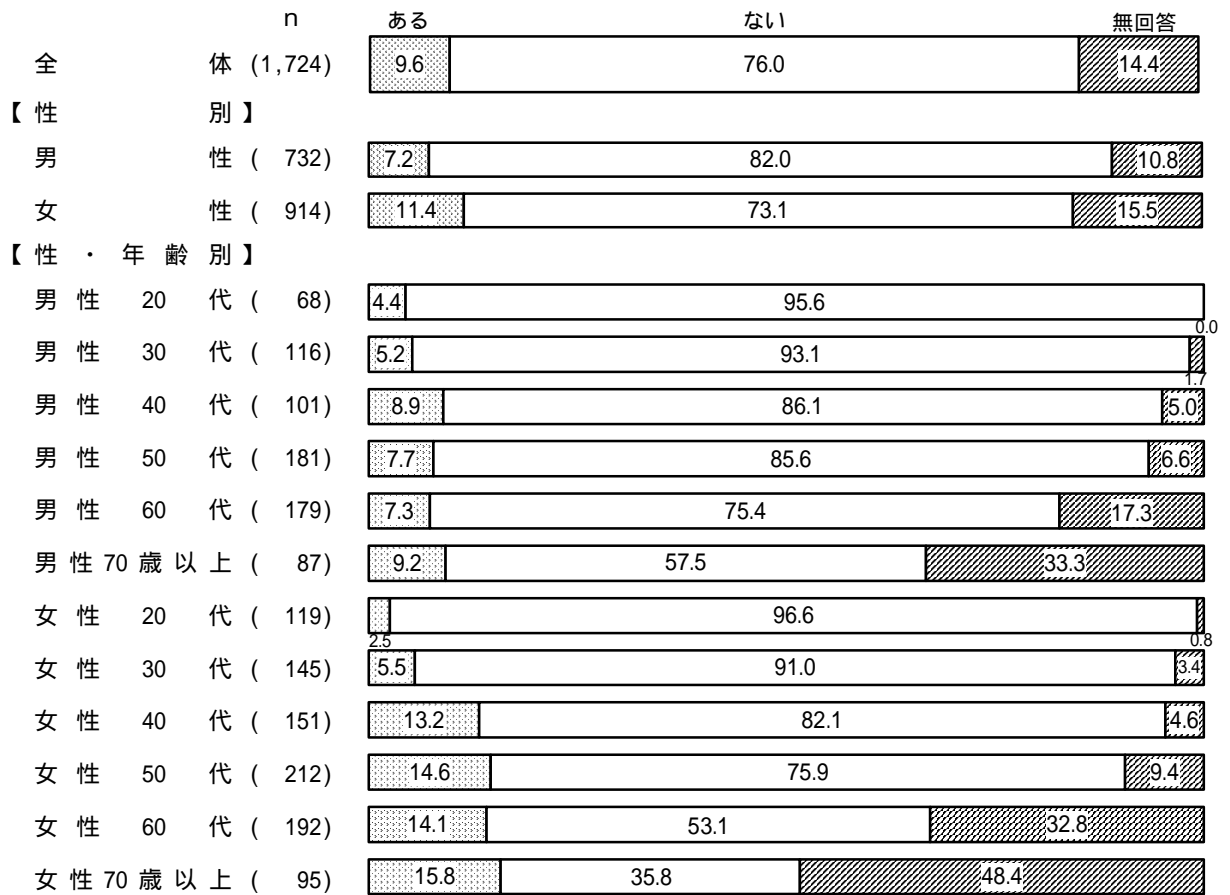
(%)

広聴手段の利用度（４）市民相談 / 属性分析（図８ - ８ - ９）

【性別】「ある」は女性の方が４ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「ある」は女性４０代以上の年代で１割半ばを占め、他の年代より割合が高くなっている。

図 8 - 8 - 9 広聴手段の利用度（４）市民相談 - 属性別



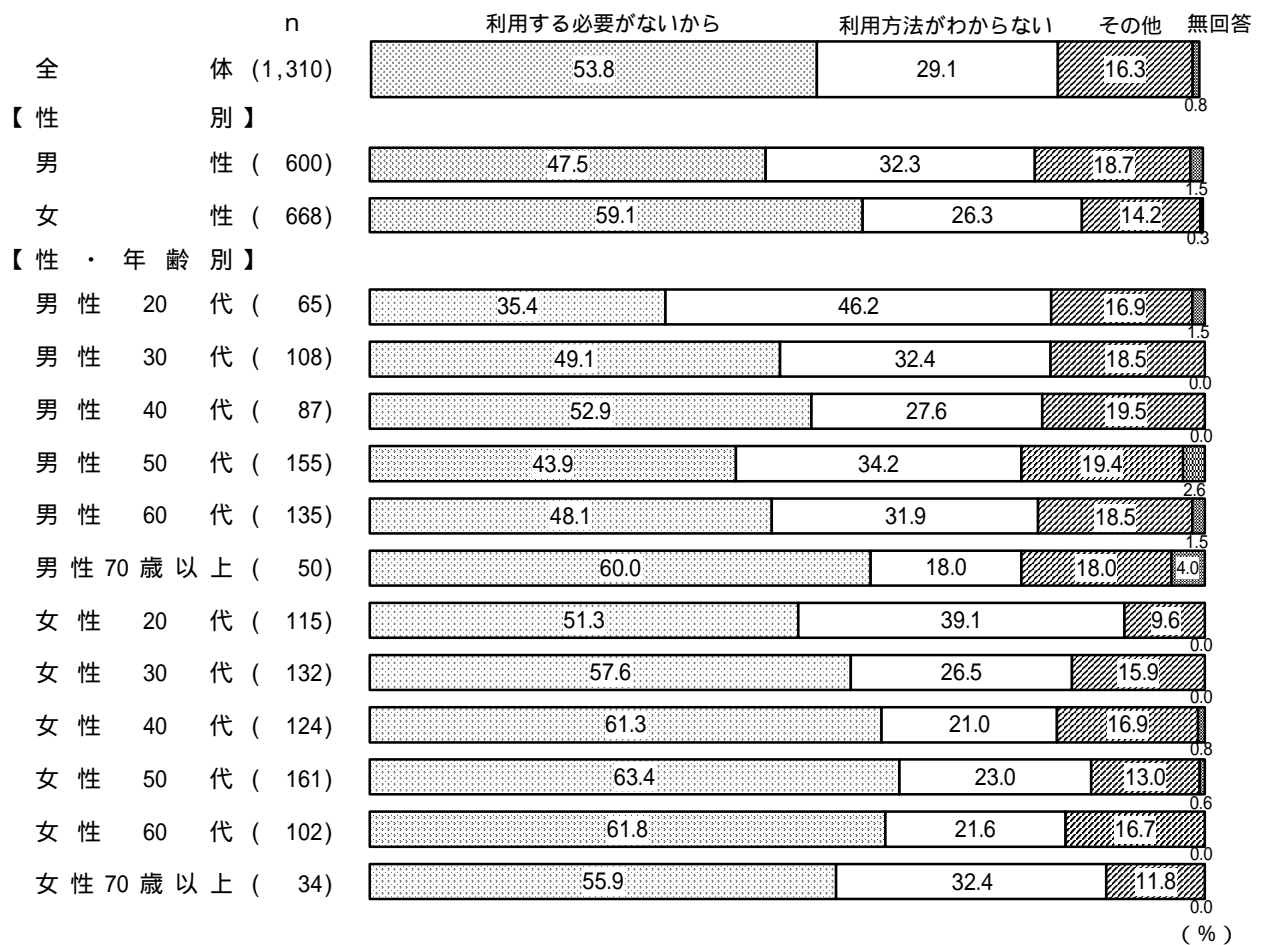
(%)

広聴手段を利用したことがない理由（４）市民相談／属性分析（図８ - ８ - 10）

【性別】「利用する必要があるから」は女性の方が12ポイント高くなっている。「利用方法がわからない」は男性の方が6ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「利用する必要があるから」は男性70歳以上と女性40代から60代までの各年代で6割を超えている。「利用方法がわからない」は男性20代（46.2%）で4割半ばを占めて多くなっている。

図8 - 8 - 10 広聴手段を利用したことがない理由（４）市民相談 - 属性別



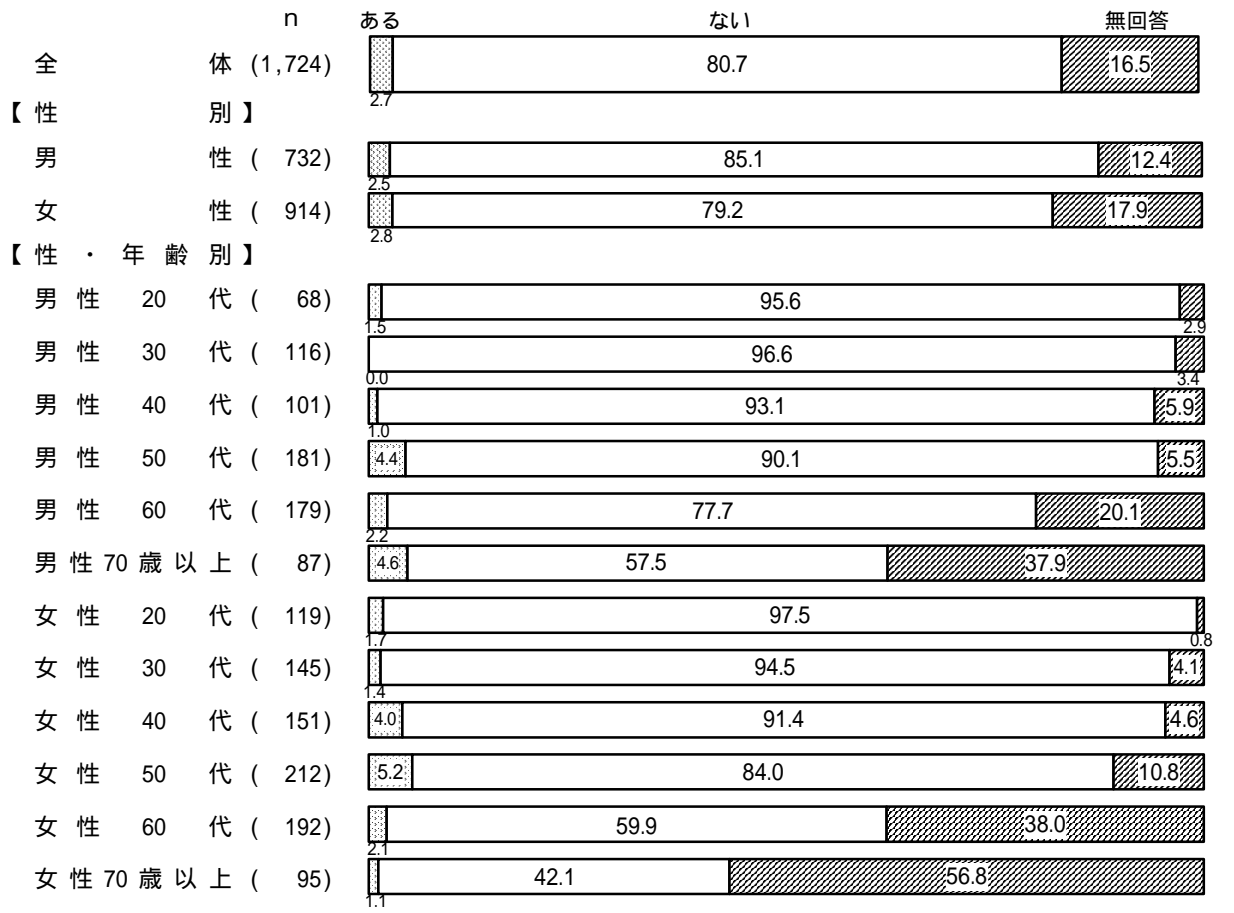
(%)

広聴手段の利用度（５）公聴会・ワークショップ／属性分析（図８－８－１１）

【性別】男女ともほぼ同じ傾向になっている。

【性・年齢別】「ある」は女性 50 代（5.2%）で他の年代に比べて割合が高くなっている。

図 8 - 8 - 11 広聴手段の利用度（５）公聴会・ワークショップ - 属性別



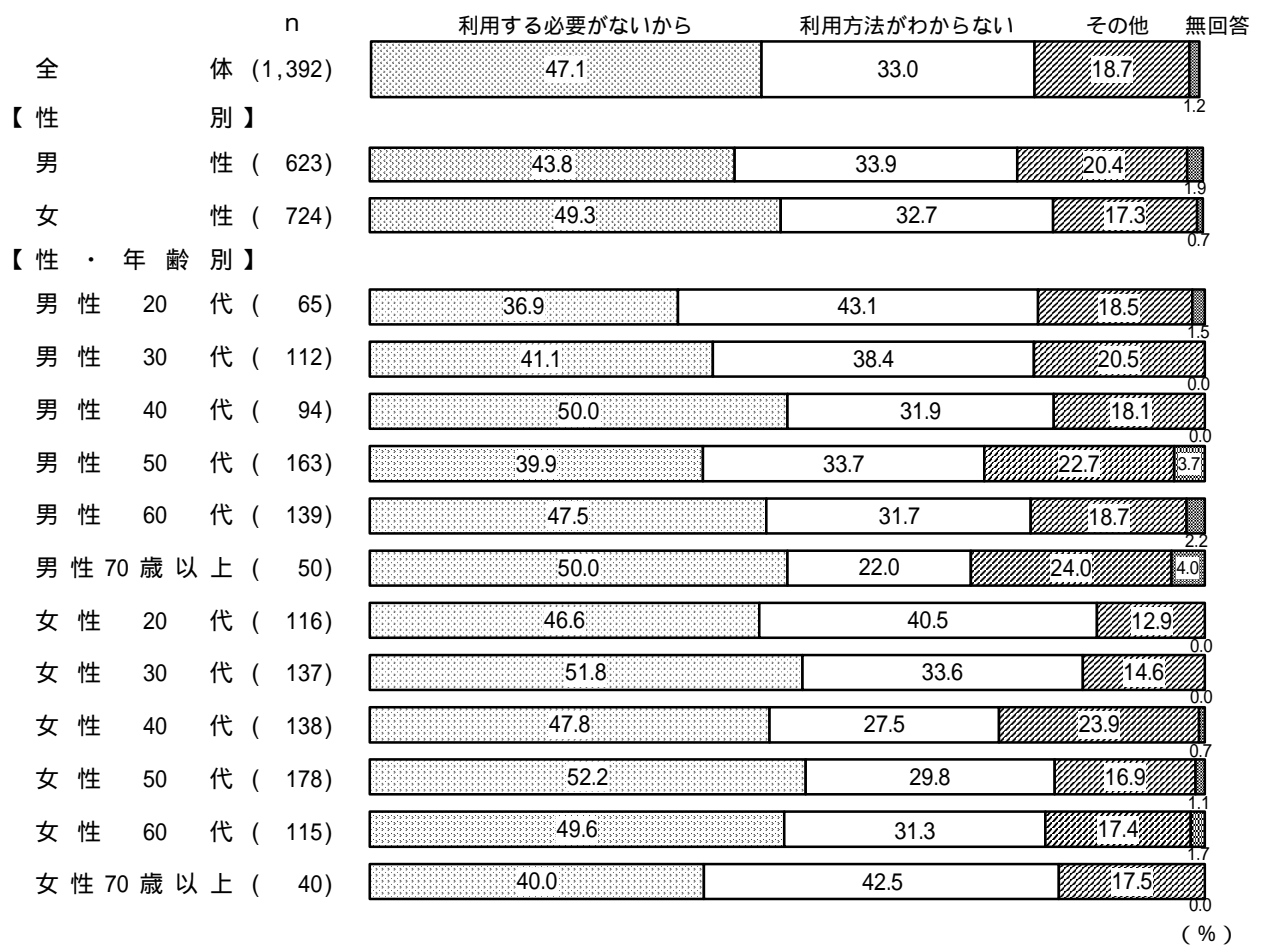
(%)

広聴手段を利用したことがない理由（５）公聴会・ワークショップ／属性分析（図８－８－１２）

【性別】「利用する必要がないから」は女性の方が６ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「利用方法がわからない」は男女とも２０代と女性７０歳以上で４割を超え、他の年代より割合が高くなっている。

図８－８－１２ 広聴手段を利用したことがない理由（５）公聴会・ワークショップ - 属性別



(%)

8 - 9 . 希望する広聴制度

「アンケート」がほぼ5割、「パブリック・コメント」がほぼ3割

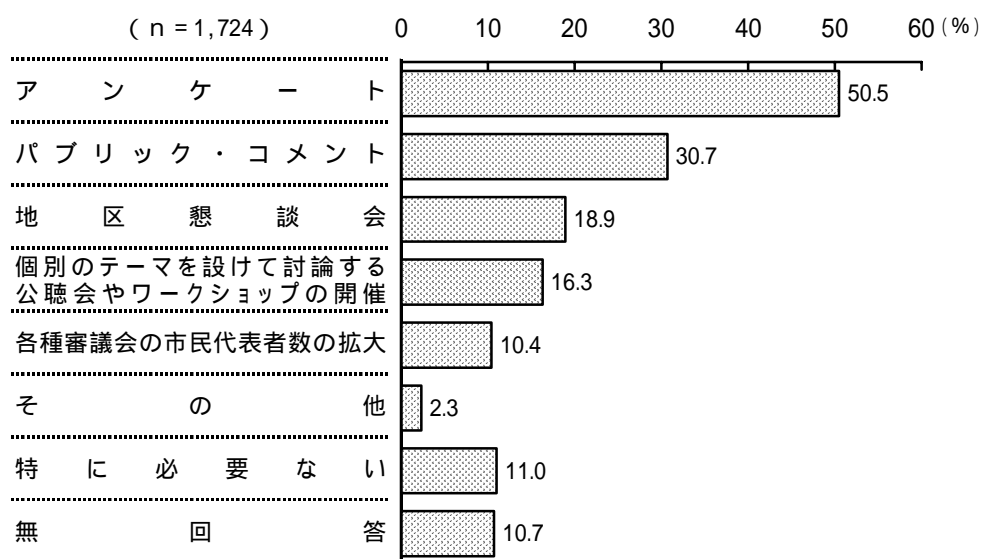
問 27 - 1 市民の意見や要望を、市政により反映させるためにあればよいと思う（または利用したいと思う）制度を次の中からいくつでも選んでください。

(n = 1,724)

1 . 個別のテーマを設けて討論する 公聴会やワークショップの開催	16.3%	5 . パブリック・コメント	30.7
2 . アンケート	50.5	6 . その他	2.3
3 . 各種審議会の市民代表者数の拡大	10.4	7 . 特に必要ない	11.0
4 . 地区懇談会	18.9	(無回答)	10.7

市民の意見や要望を市政により反映するために希望する広聴制度について聞いたところ、「アンケート」(50.5%)がほぼ5割で最も多く、次いで「パブリック・コメント」(30.7%)、「地区懇談会」(18.9%)、「個別のテーマを設けて討論する公聴会やワークショップの開催」(16.3%)などの順となっている。(図8-9-1)

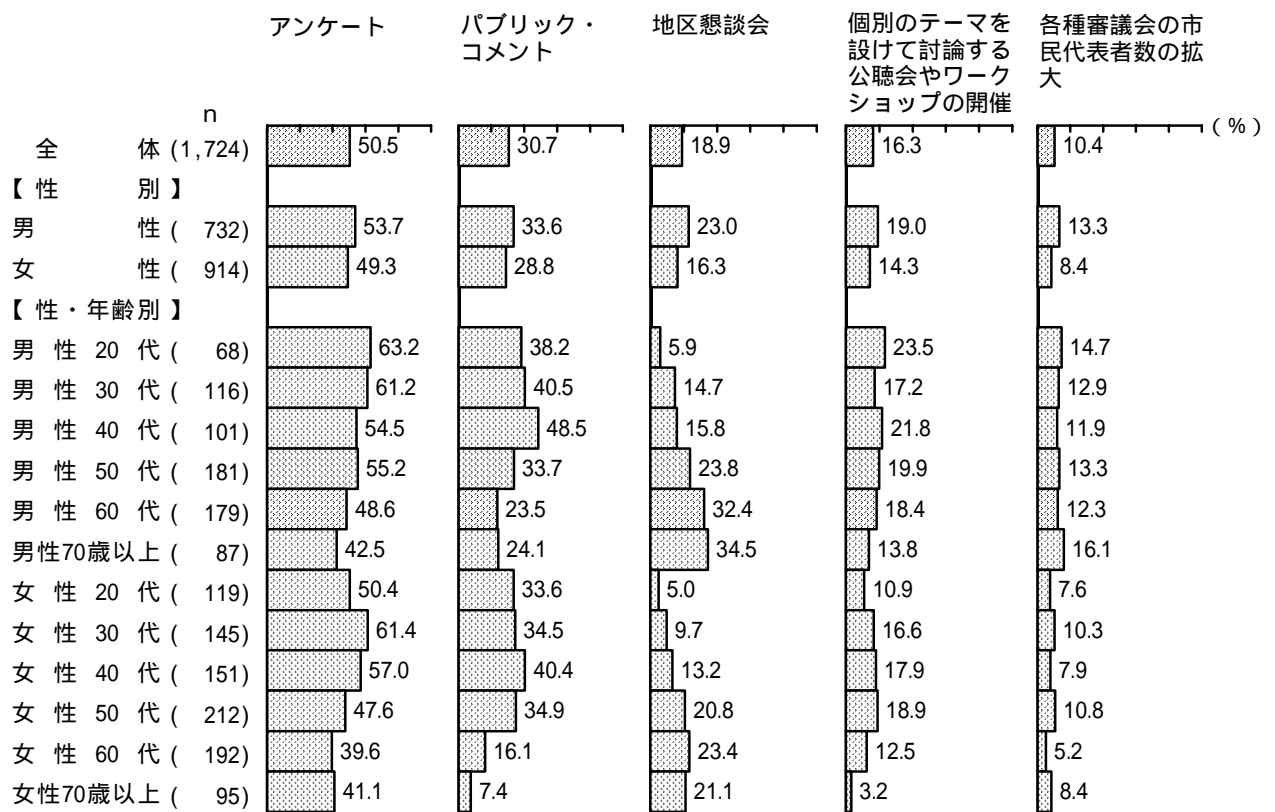
図 8 - 9 - 1 希望する広聴制度



属性分析(図8-9-2)

【性・年齢別】「アンケート」は男性20代・30代と女性30代で6割を超えている。「パブリック・コメント」は男性40代(48.5%)で5割近くを占めて多く、男性20代・30代と女性40代でも4割前後を占めている。「地区懇談会」はおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、特に男性60代以上の年代で3割を超えている。

図8-9-2 希望する広聴制度 - 属性別



8 - 10 . 公共施設の利用度

彩の森入間公園と図書館は5割の市民が利用している

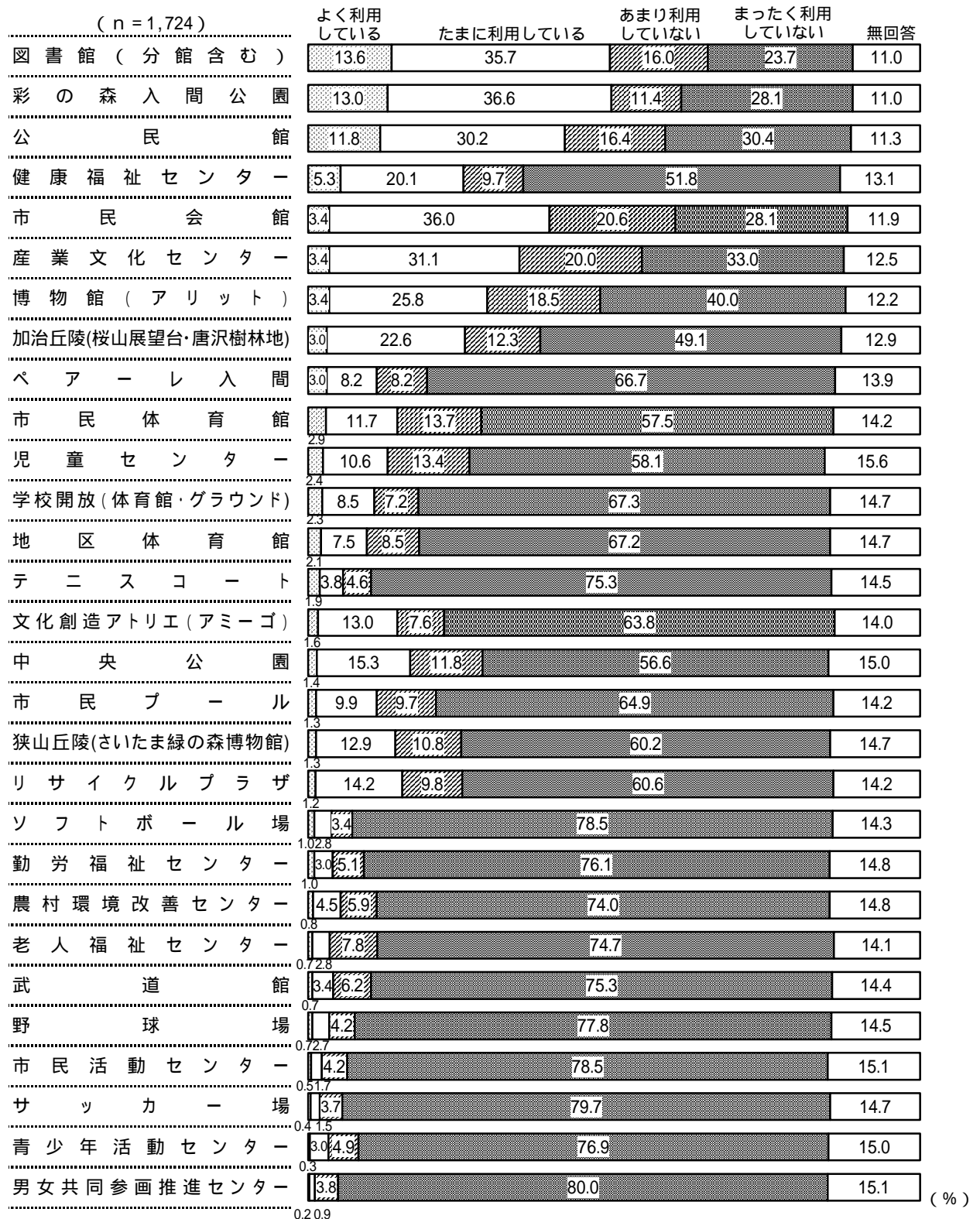
問 28 市内にはさまざまな公共施設がありますが、あなたは次の施設を利用していますか。
 または利用していないのはなぜですか。 (n = 1,724)

(ア) 利用の程度で「3 . あまり利用していない」「4 . まったく利用していない」と回答された方は、(イ) 利用していない理由をお答えください。

	(ア) 利 用 の 頻 度 (%)				(無 回 答)
	利用 よく している	利用 たま に している	利用 あ ま り し て い ない	利 用 し て い ない ま った く	
(1) 図書館(分館含む)	13.6	35.7	16.0	23.7	11.0
(2) 市民会館	3.4	36.0	20.6	28.1	11.9
(3) 産業文化センター	3.4	31.1	20.0	33.0	12.5
(4) 児童センター	2.4	10.6	13.4	58.1	15.6
(5) 博物館(アリット)	3.4	25.8	18.5	40.0	12.2
(6) 公民館	11.8	30.2	16.4	30.4	11.3
(7) 老人福祉センター	0.7	2.8	7.8	74.7	14.1
(8) 市民体育館	2.9	11.7	13.7	57.5	14.2
(9) 武道館	0.7	3.4	6.2	75.3	14.4
(10) 地区体育館	2.1	7.5	8.5	67.2	14.7
(11) 市民プール	1.3	9.9	9.7	64.9	14.2
(12) 野球場	0.7	2.7	4.2	77.8	14.5
(13) ソフトボール場	1.0	2.8	3.4	78.5	14.3
(14) サッカー場	0.4	1.5	3.7	79.7	14.7
(15) テニスコート	1.9	3.8	4.6	75.3	14.5
(16) 健康福祉センター	5.3	20.1	9.7	51.8	13.1
(17) 勤労福祉センター	1.0	3.0	5.1	76.1	14.8
(18) 農村環境改善センター	0.8	4.5	5.9	74.0	14.8
(19) リサイクルプラザ	1.2	14.2	9.8	60.6	14.2
(20) 学校開放(体育館・グラウンド)	2.3	8.5	7.2	67.3	14.7
(21) 加治丘陵(桜山展望台・唐沢樹林地)	3.0	22.6	12.3	49.1	12.9
(22) 狭山丘陵(さいたま緑の森博物館)	1.3	12.9	10.8	60.2	14.7
(23) 文化創造アトリエ(アミーゴ)	1.6	13.0	7.6	63.8	14.0
(24) 中央公園	1.4	15.3	11.8	56.6	15.0
(25) 彩の森入間公園	13.0	36.6	11.4	28.1	11.0
(26) ペアーレ入間	3.0	8.2	8.2	66.7	13.9
(27) 青少年活動センター	0.3	3.0	4.9	76.9	15.0
(28) 市民活動センター	0.5	1.7	4.2	78.5	15.1
(29) 男女共同参画推進センター	0.2	0.9	3.8	80.0	15.1

市内の公共施設の利用度について聞いたところ、「よく利用している」は図書館（分館含む）（13.6%）、彩の森入間公園（13.0%）、公民館（11.8%）で1割を超えて多くなっている。これに「たまに利用している」を合わせた『利用している（計）』でみると、彩の森入間公園（49.6%）と図書館（分館含む）（49.3%）が5割で最も多く、次いで公民館（42.0%）、市民会館（39.4%）、産業文化センター（34.5%）、博物館（アリット）（29.2%）、加治丘陵（桜山展望台・唐沢樹林地）（25.6%）、健康福祉センター（25.4%）などの順となっている。（図8-10-1）

図8-10-1 公共施設の利用度



「よく利用している」の割合が高い、上位5つの公共施設について属性別に分析する。

<第1位> 図書館（分館含む）／属性分析（図8 - 10 - 2）

【性別】男女ともほぼ同じ傾向になっている。

【性・年齢別】『利用している（計）』は男女とも40代で他の年代に比べ割合が最も高くなっており、特に女性40代（65.6%）で6割半ばに達している。

【居住地区別】「あまり利用していない」と「まったく利用していない」を合わせると、宮寺・二本木地区（50.0%）で5割を占めている。

【職業別】『利用している（計）』は学生（72.4%）で7割を超えて多くなっている。

<第2位> 彩の森入間公園／属性分析（図8 - 10 - 3）

【性別】男女ともほぼ同じ傾向になっている。

【性・年齢別】「よく利用している」は女性30代（25.5%）で2割半ばを占めている。『利用している（計）』でみると、男性40代と女性30代で6割以上になっている。

【居住地区別】『利用している（計）』は豊岡地区（67.4%）で7割近くを占めており、藤沢地区（54.9%）、東金子地区（48.7%）も、それ以外の地区に比べて割合が高くなっている。

【職業別】『利用している（計）』は主婦（家事専業）（56.6%）で5割半ばを占めている。

<第3位> 公民館／属性分析（図8 - 10 - 4）

【性別】『利用している（計）』は女性の方が5ポイント高くなっている。

【性・年齢別】『利用している（計）』は男性60代以上と女性30代以上の各年代で5割前後を占めており、他の世代に比べて割合が最も高くなっている。

【居住地区別】『利用している（計）』は宮寺・二本木地区（56.4%）で5割半ばを占めている。

【職業別】『利用している（計）』は主婦（家事専業）（54.5%）で5割半ばを占めている。

<第4位> 健康福祉センター／属性分析（図8 - 10 - 5）

【性別】『利用している（計）』は女性の方が7ポイント高くなっている。

【性・年齢別】『利用している（計）』は女性30代（46.2%）で4割半ばを占めて多くなっている。

【居住地区別】地区による顕著な傾向はみられない。

【職業別】『利用している（計）』は主婦（家事専業）（43.1%）で4割を超えて多くなっている。

<第5位> 市民会館／属性分析（図8 - 10 - 6）

【性別】『利用している（計）』は女性の方が6ポイント高くなっている。

【性・年齢別】『利用している（計）』は女性50代（53.8%）と男性60代（47.5%）で5割前後を占めている。

【居住地区別】地区による顕著な傾向はみられない。

【職業別】『利用している（計）』は学生（29.8%）でやや低くなっているが、それ以外の職業間ではほぼ同じ傾向になっている。

図8 - 10 - 2 公共施設の利用度 < 第 1 位 > 図書館 (分館含む) - 属性別

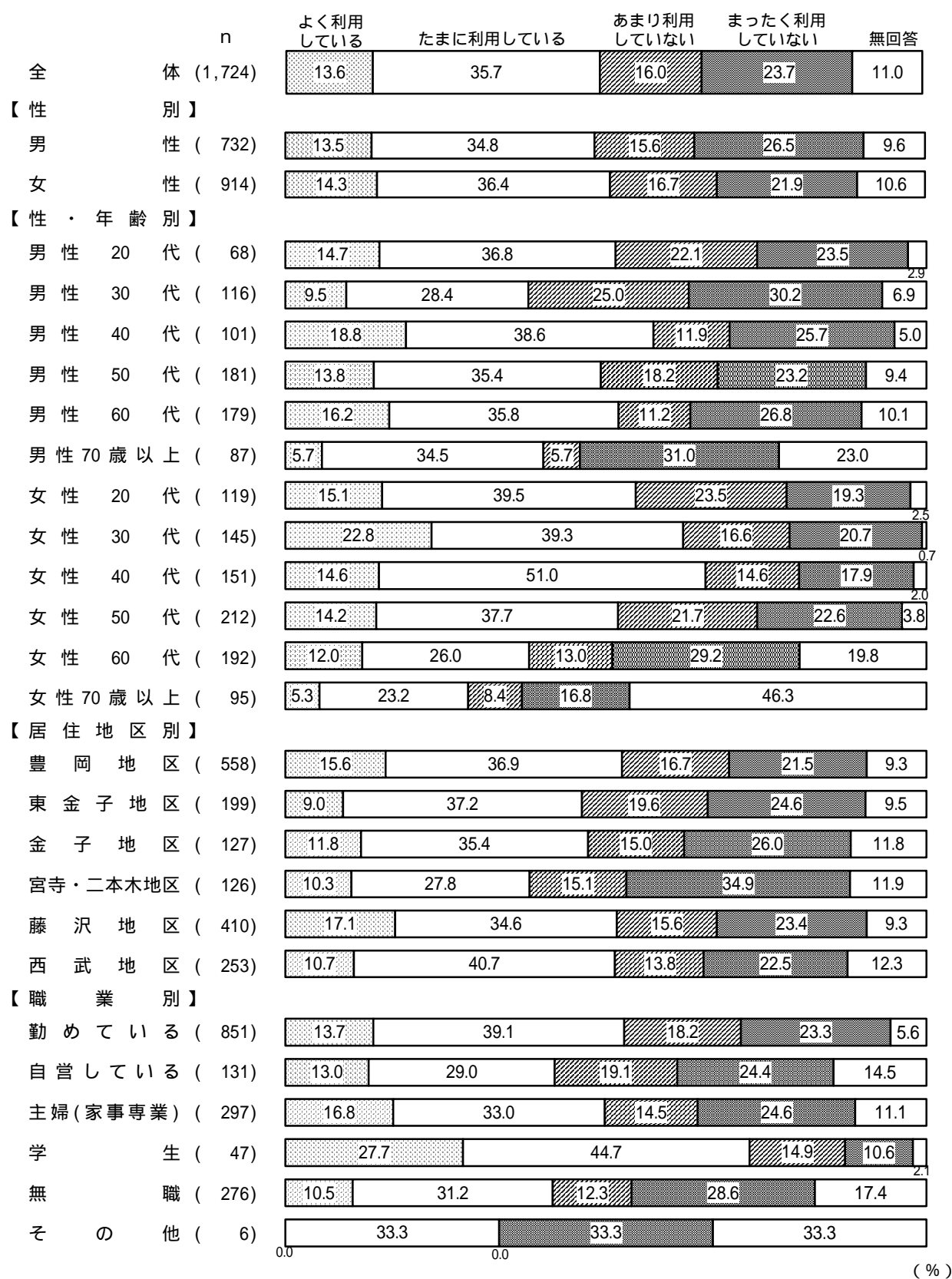


図8 - 10 - 3 公共施設の利用度<第2位>彩の森入間公園 - 属性別

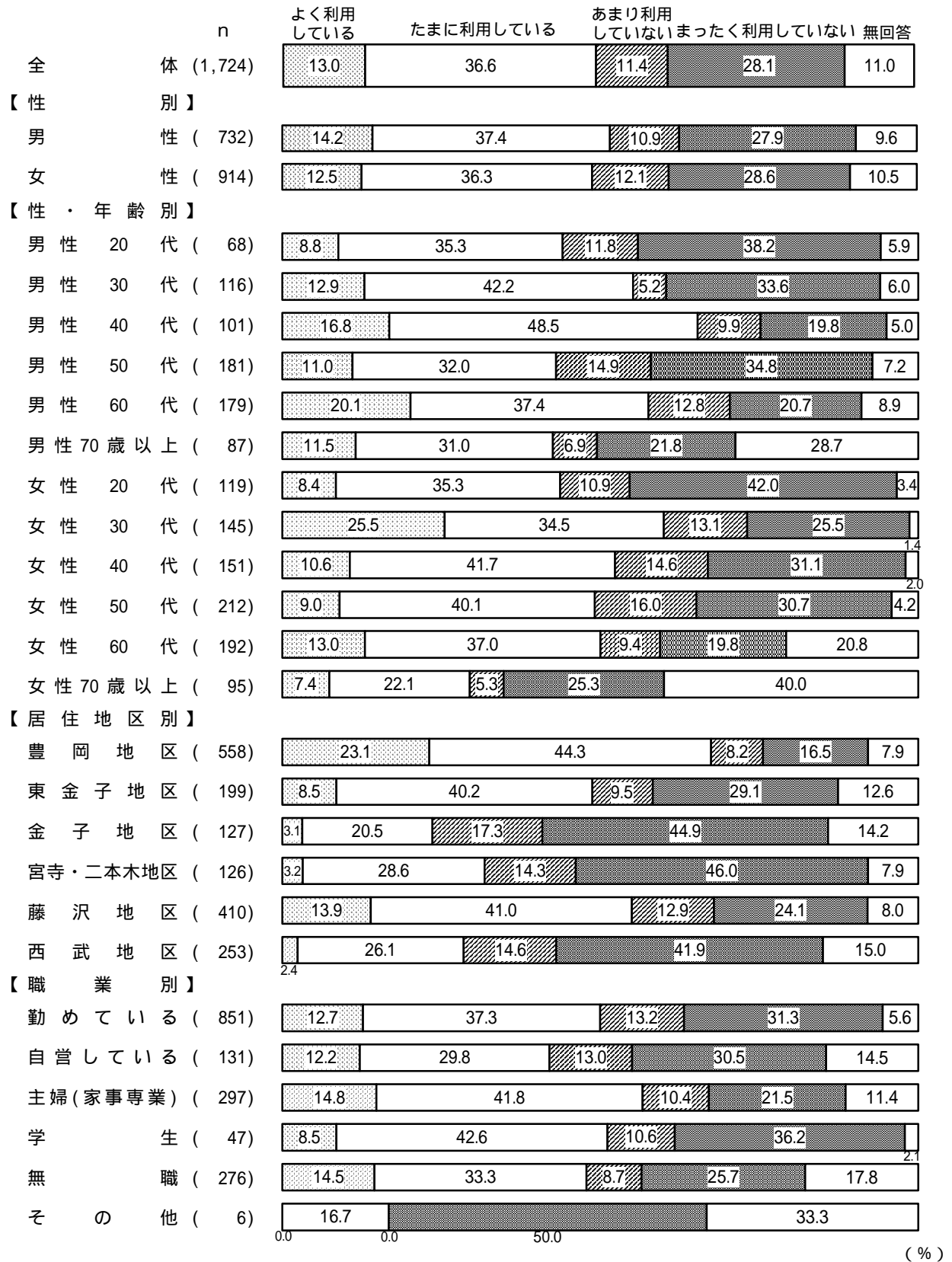
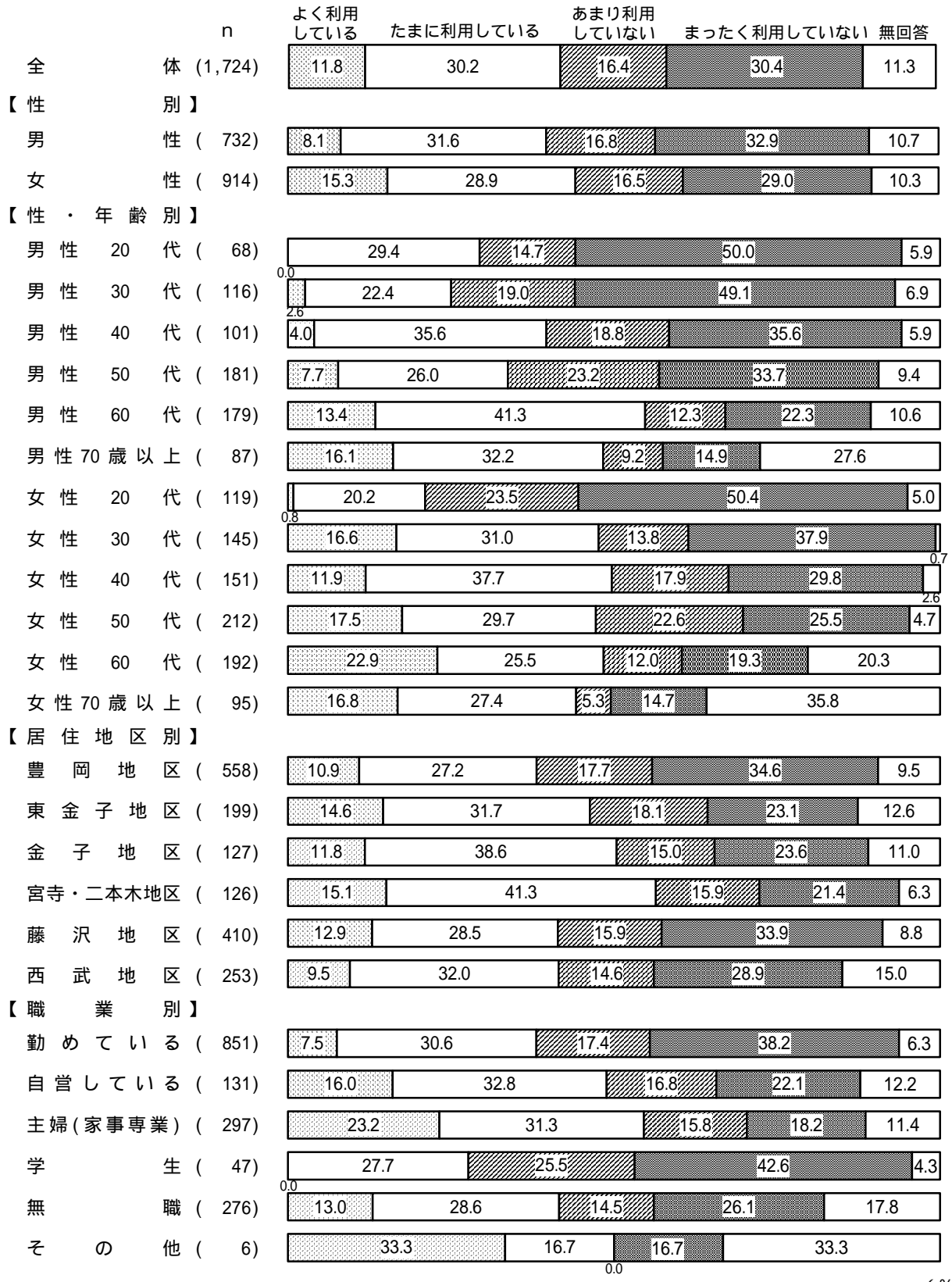


図8 - 10 - 4 公共施設の利用度<第3位> 公民館 - 属性別



(%)

図 8 - 10 - 5 公共施設の利用度 < 第 4 位 > 健康福祉センター - 属性別

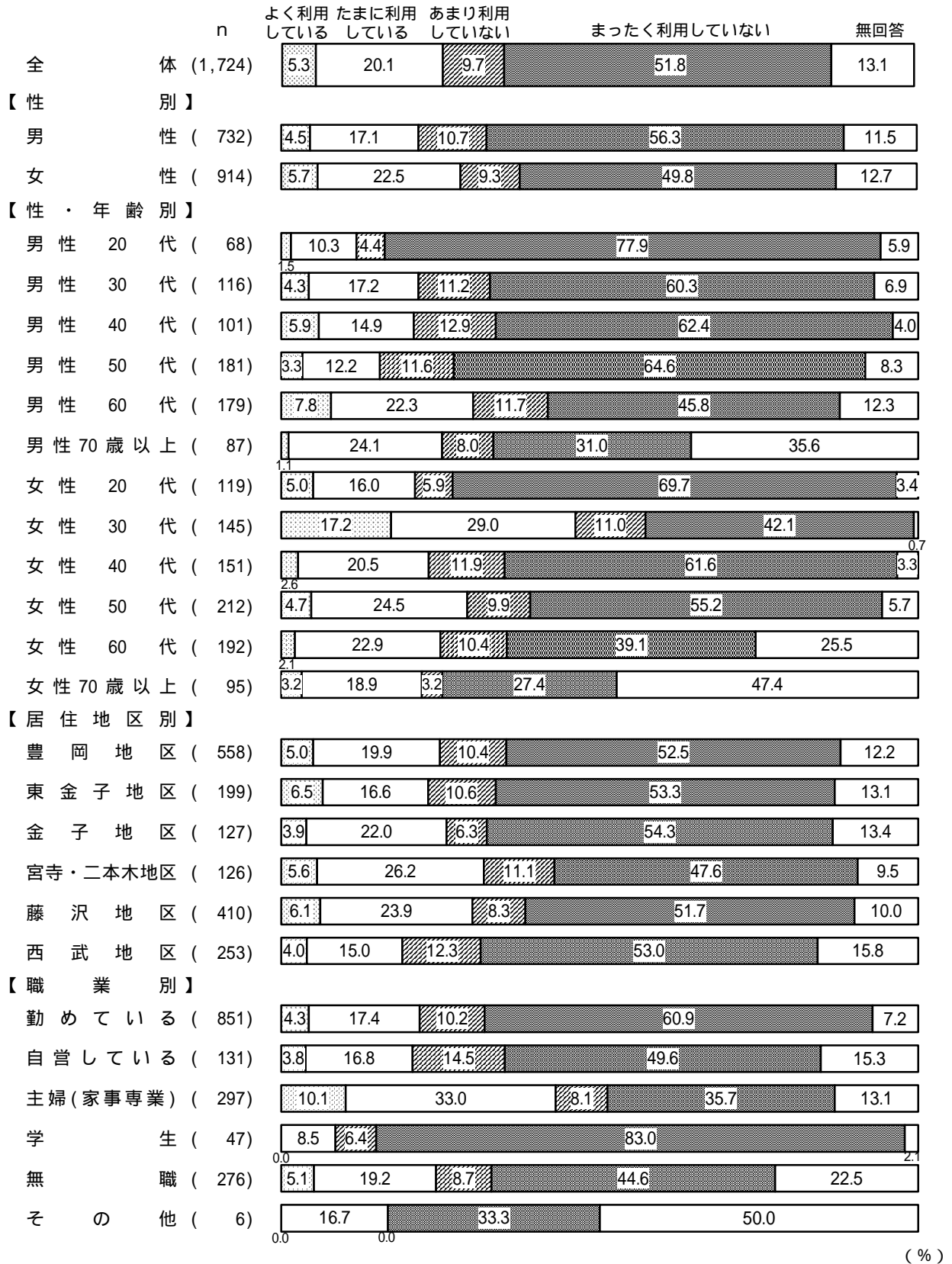
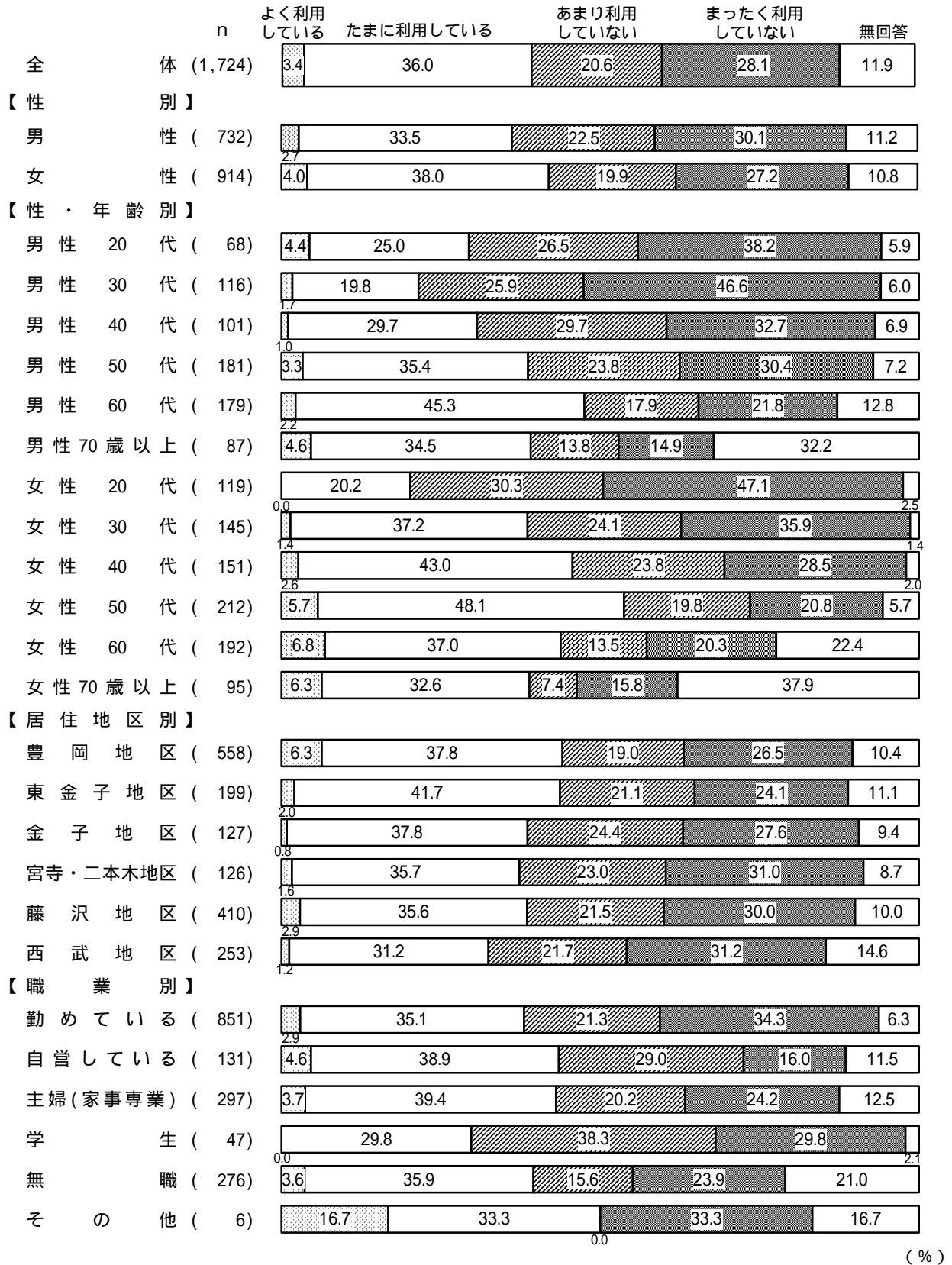


図8 - 10 - 6 公共施設の利用率<第5位>市民会館 - 属性別



8 - 11 . 公共施設を利用していない理由

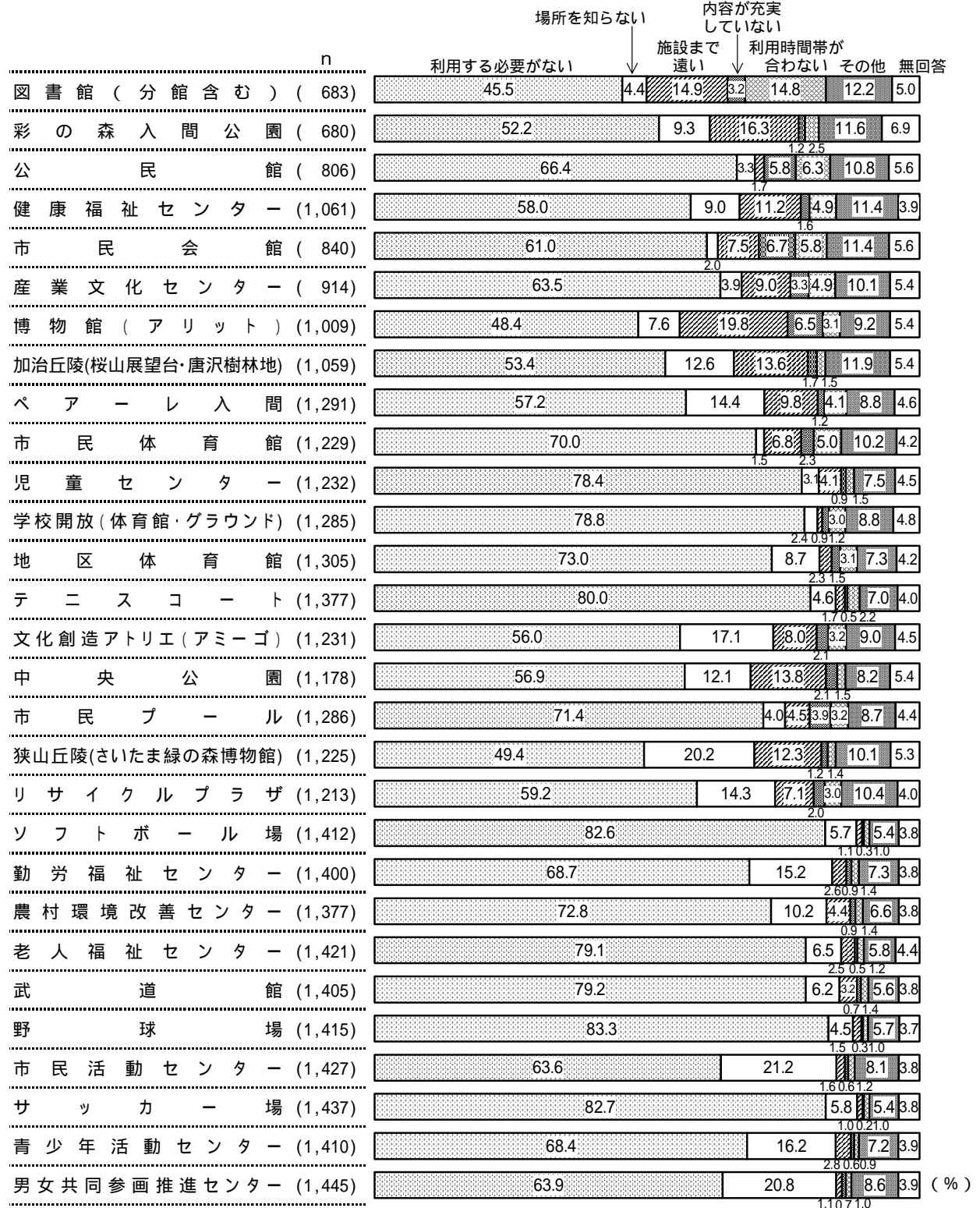
すべての施設で「利用する必要がない」が最も多い

(ア) 利用の程度で「3 . あまり利用していない」「4 . まったく利用していない」と回答された方は、(イ) 利用していない理由をお答えください。

	(イ) 利用していない理由 (%)						(無回答)
	利用する必要がない	場所を知らない	施設まで遠い	内容が充実していない	利用時間帯が合わない	その他	
(1) 図書館(分館含む)	45.5	4.4	14.9	3.2	14.8	12.2	5.0
(2) 市民会館	61.0	2.0	7.5	6.7	5.8	11.4	5.6
(3) 産業文化センター	63.5	3.9	9.0	3.3	4.9	10.1	5.4
(4) 児童センター	78.4	3.1	4.1	0.9	1.5	7.5	4.5
(5) 博物館(アリット)	48.4	7.6	19.8	6.5	3.1	9.2	5.4
(6) 公民館	66.4	3.3	1.7	5.8	6.3	10.8	5.6
(7) 老人福祉センター	79.1	6.5	2.5	0.5	1.2	5.8	4.4
(8) 市民体育館	70.0	1.5	6.8	2.3	5.0	10.2	4.2
(9) 武道館	79.2	6.2	3.2	0.7	1.4	5.6	3.8
(10) 地区体育館	73.0	8.7	2.3	1.5	3.1	7.3	4.2
(11) 市民プール	71.4	4.0	4.5	3.9	3.2	8.7	4.4
(12) 野球場	83.3	4.5	1.5	0.3	1.0	5.7	3.7
(13) ソフトボール場	82.6	5.7	1.1	0.3	1.0	5.4	3.8
(14) サッカー場	82.7	5.8	1.0	0.2	1.0	5.4	3.8
(15) テニスコート	80.0	4.6	1.7	0.5	2.2	7.0	4.0
(16) 健康福祉センター	58.0	9.0	11.2	1.6	4.9	11.4	3.9
(17) 勤労福祉センター	68.7	15.2	2.6	0.9	1.4	7.3	3.8
(18) 農村環境改善センター	72.8	10.2	4.4	0.9	1.4	6.6	3.8
(19) リサイクルプラザ	59.2	14.3	7.1	2.0	3.0	10.4	4.0
(20) 学校開放(体育館・グラウンド)	78.8	2.4	0.9	1.2	3.0	8.8	4.8
(21) 加治丘陵(桜山展望台・唐沢樹林地)	53.4	12.6	13.6	1.7	1.5	11.9	5.4
(22) 狭山丘陵(さいたま緑の森博物館)	49.4	20.2	12.3	1.2	1.4	10.1	5.3
(23) 文化創造アトリエ(アミーゴ)	56.0	17.1	8.0	2.1	3.2	9.0	4.5
(24) 中央公園	56.9	12.1	13.8	2.1	1.5	8.2	5.4
(25) 彩の森入間公園	52.2	9.3	16.3	1.2	2.5	11.6	6.9
(26) ペアーレ入間	57.2	14.4	9.8	1.2	4.1	8.8	4.6
(27) 青少年活動センター	68.4	16.2	2.8	0.6	0.9	7.2	3.9
(28) 市民活動センター	63.6	21.2	1.6	0.6	1.2	8.1	3.8
(29) 男女共同参画推進センター	63.9	20.8	1.1	0.7	1.0	8.6	3.9

市の公共施設を「あまり利用していない」または「まったく利用していない」と答えた人に、それぞれの施設についてその理由を聞いたところ、すべての施設で「利用する必要がない」が最も多くなっている。このほか、「場所を知らない」は市民活動センター（21.2%）、男女共同参画推進センター（20.8%）、狭山丘陵（さいたま緑の森博物館）（20.2%）などで他の公共施設に比べて割合が高く、「施設まで遠い」は博物館（アリット）（19.8%）、彩の森入間公園（16.3%）、図書館（分館含む）（14.9%）などで、「利用時間帯が合わない」は図書館（分館含む）（14.8%）で、それぞれ他の公共施設に比べて割合が高くなっている。（図8-11-1）

図8-11-1 公共施設を利用していない理由



8 - 12 . 行財政改革を進めるにあたっての重点項目

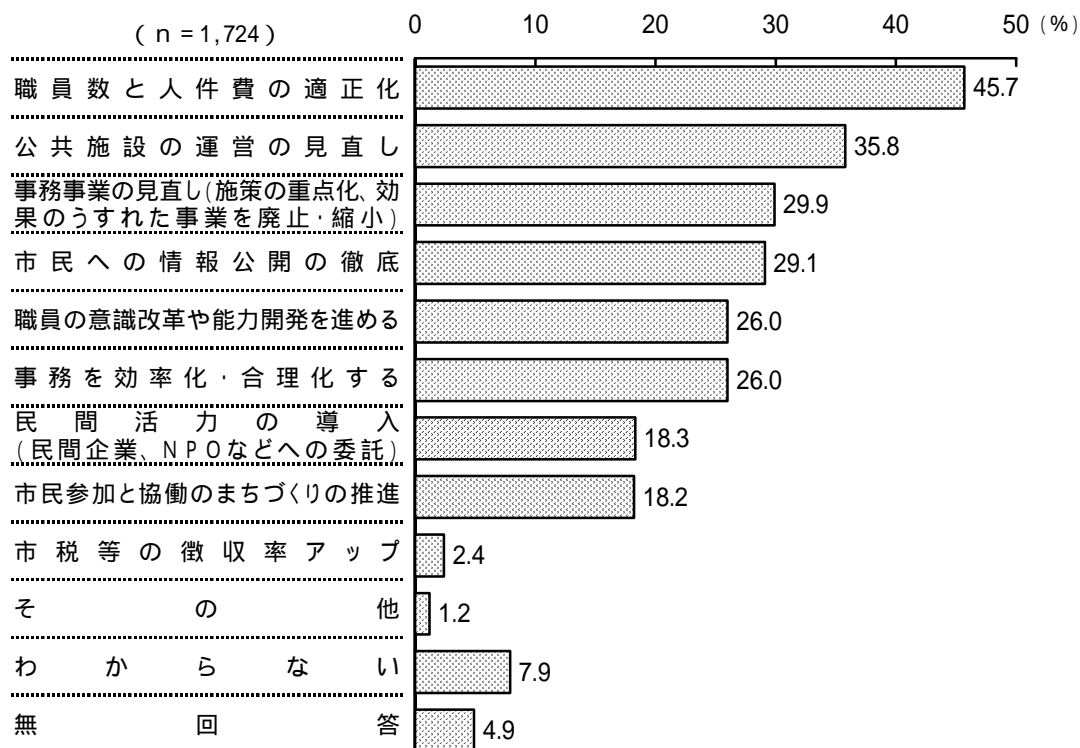
「職員数と人件費の適正化」が4割半ばで最も多い

問 31 行財政改革を進めるにあたって、市が重点的に取り組むべきと思うものは何ですか。
次の中から3つまで選んでください。 (n = 1,724)

1 . 市民参加と協働のまちづくりの推進	18.2%
2 . 市民への情報公開の徹底	29.1
3 . 民間活力の導入 (民間企業、 N P O などへの委託)	18.3
4 . 公共施設の運営の見直し	35.8
5 . 事務を効率化・合理化する	26.0
6 . 事務事業の見直し (施策の重点化、効果のうすれた事業を廃止・縮小)	29.9
7 . 職員の意識改革や能力開発を進める	26.0
8 . 職員数と人件費の適正化	45.7
9 . 市税等の徴収率アップ	2.4
10 . その他	1.2
11 . わからない	7.9
(無回答)	4.9

行財政改革を進めるにあたって市が重点的に取り組むべき項目について聞いたところ、「職員数と人件費の適正化」(45.7%) が 4 割半ばで最も多く、次いで「公共施設の運営の見直し」(35.8%)、「事務事業の見直し (施策の重点化、効果のうすれた事業を廃止・縮小) 」(29.9%)、「市民への情報公開の徹底」(29.1%)、「事務を効率化・合理化する」(26.0%)、「職員の意識改革や能力開発を進める」(26.0%) などの順となっている。(図 8 - 12 - 1)

図 8 - 12 - 1 行財政改革を進めるにあたっての重点項目

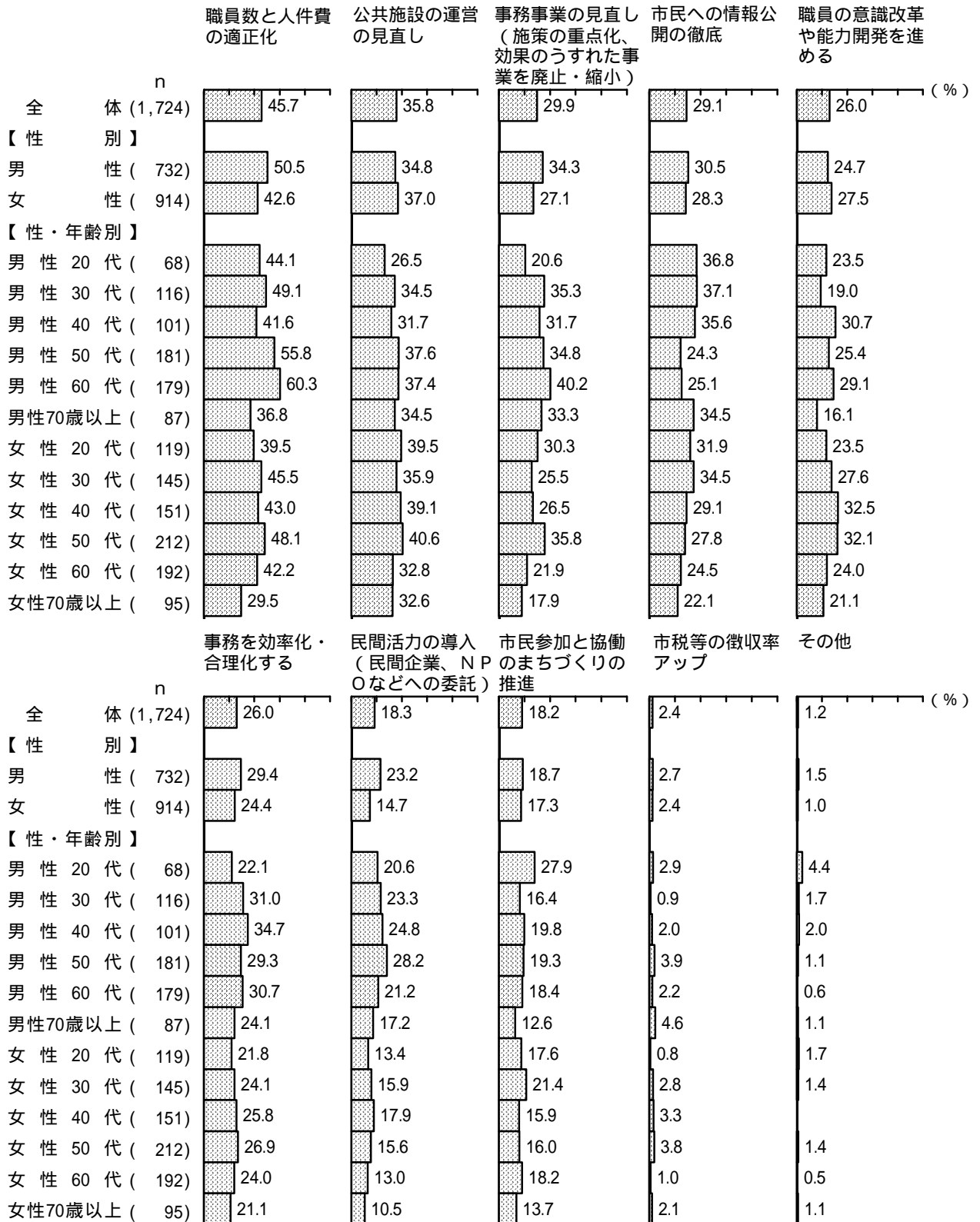


属性分析（図8-12-2）

【性別】男性の方が「民間活力の導入（民間企業、NPOなどへの委託）」で9ポイント、「事務事業の見直し（施策の重点化、効果のうすれた事業を廃止・縮小）」で7ポイントそれぞれ高い。

【性・年齢別】「職員数と人件費の適正化」は男性60代（60.3%）で6割を占めている。

図8-12-2 行財政改革を進めるにあたっての重点項目 - 属性別



8 - 13 . 行政サービスの利用者負担

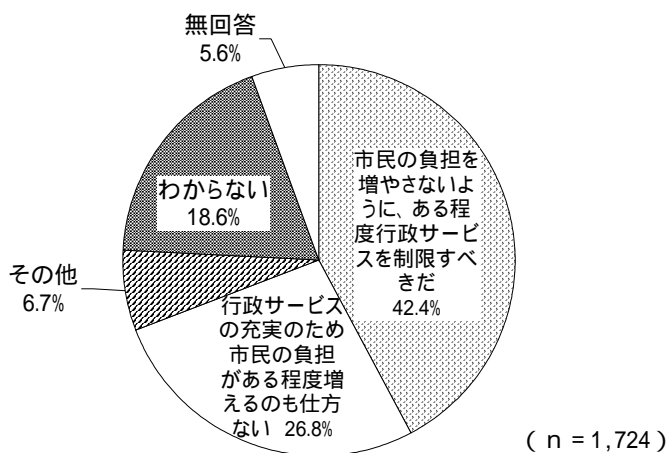
「市民の負担を増やさないように、ある程度行政サービスを制限すべきだ」が4割を超えて最も多い

問 32 行政サービスの利用者負担について、あなたの意見に最も近いもの1つにつけてください。 (n = 1,724)

1 . 市民の負担を増やさないように、ある程度行政サービスを制限すべきだ	42.4%
2 . 行政サービスを充実させるためには、サービスを受ける市民の負担がある程度増えるのも仕方がない	26.8
3 . その他	6.7
4 . わからない	18.6
(無回答)	5.6

行政サービスの利用者負担についての考えを聞いたところ、「市民の負担を増やさないように、ある程度行政サービスを制限すべきだ」（42.4％）が4割を超え、「行政サービスを充実させるためには、サービスを受ける市民の負担がある程度増えるのも仕方がない」（26.8％）を上回っている。（図8 - 13 - 1）

図 8 - 13 - 1 行政サービスの利用者負担



属性分析（図8 - 13 - 2）

【性別】全体的にみると、男女ともほぼ同じ傾向となっている。

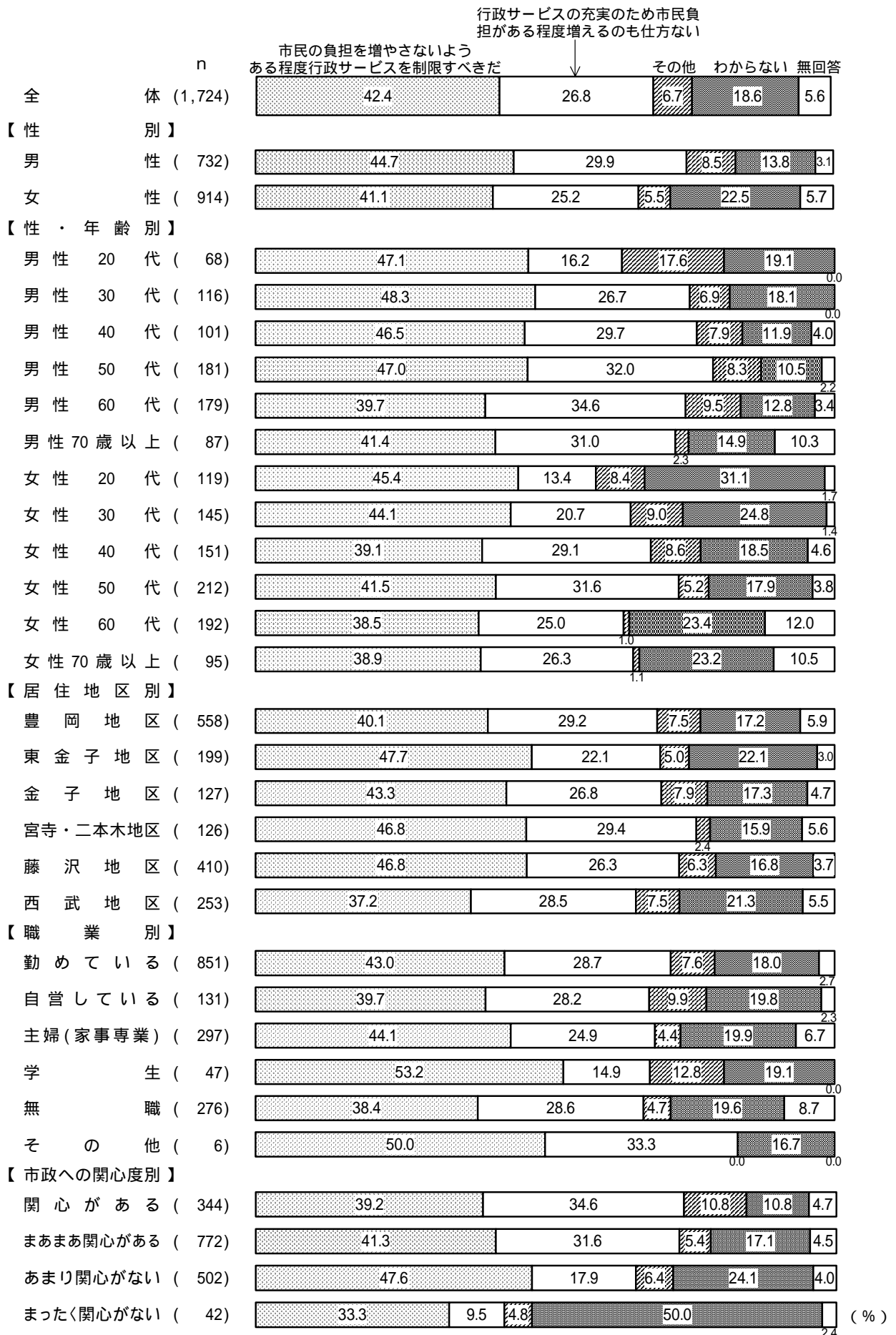
【性・年齢別】「行政サービスを充実させるためには、サービスを受ける市民の負担がある程度増えるのも仕方がない」は男性60代（34.6％）で他の世代に比べ最も高く、男性50代と70歳以上、女性50代でも3割を超えている。

【居住地区別】地区による顕著な傾向はみられない。

【職業別】市民の負担を増やさないように、ある程度行政サービスを制限すべきだ」は学生（53.2％）で5割を超えているが、それ以外の職業間ではほぼ同じ傾向になっている。

【市政への関心度別】市政への関心が高いほど、「行政サービスを充実させるためには、サービスを受ける市民の負担がある程度増えるのも仕方がない」の割合が高くなっている。

図8 - 13 - 2 行政サービスの利用者負担 - 属性別



8 - 14 . 市役所職員の対応評価

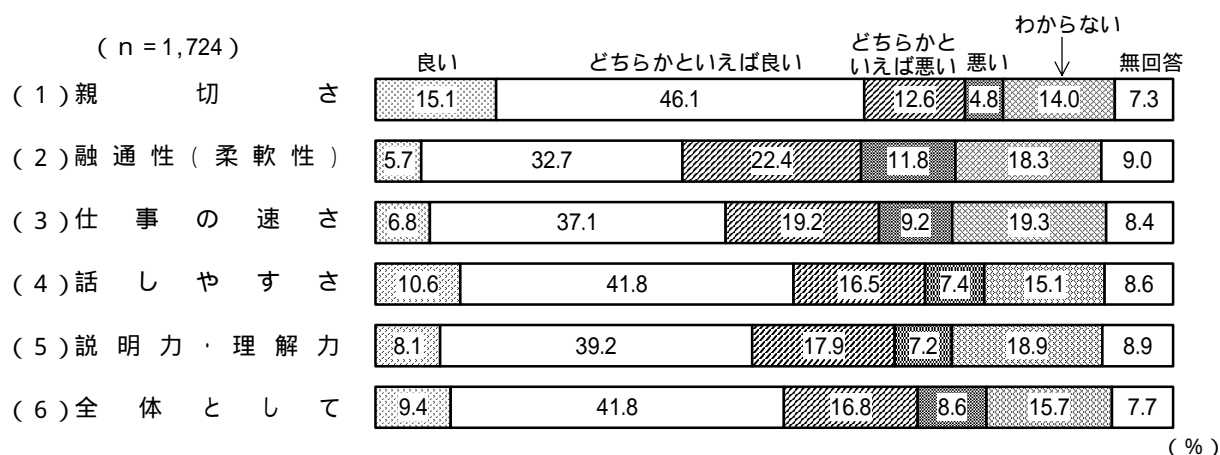
全体として、「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせると5割を超える

問 33 あなたは、市役所職員の対応についてどのように思いますか。それぞれの項目について、1つずつ選んでください。 (n = 1,724)

(%)	良い	どちらかといえば良い	どちらかといえば悪い	悪い	わからない	(無回答)
(1) 親切さ	15.1	46.1	12.6	4.8	14.0	7.3
(2) 融通性(柔軟性)	5.7	32.7	22.4	11.8	18.3	9.0
(3) 仕事の速さ	6.8	37.1	19.2	9.2	19.3	8.4
(4) 話しやすさ	10.6	41.8	16.5	7.4	15.1	8.6
(5) 説明力・理解力	8.1	39.2	17.9	7.2	18.9	8.9
(6) 全体として	9.4	41.8	16.8	8.6	15.7	7.7

市役所職員の対応について、その評価を聞いたところ、「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた『良い(計)』は、親切さ(61.2%)で6割を超えて最も評価が高く、次いで、話しやすさ(52.4%)、説明力・理解力(47.3%)、仕事の速さ(43.9%)、融通性(柔軟性)(38.4%)の順となっている。一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた『悪い(計)』が最も多いのは、融通性(柔軟性)(34.2%)で、すべての項目で『良い(計)』が『悪い(計)』を上回っている。全体としての評価は、『良い(計)』(51.2%)が5割を超え、『悪い(計)』(25.4%)が2割半ばである。(図8-14-1)

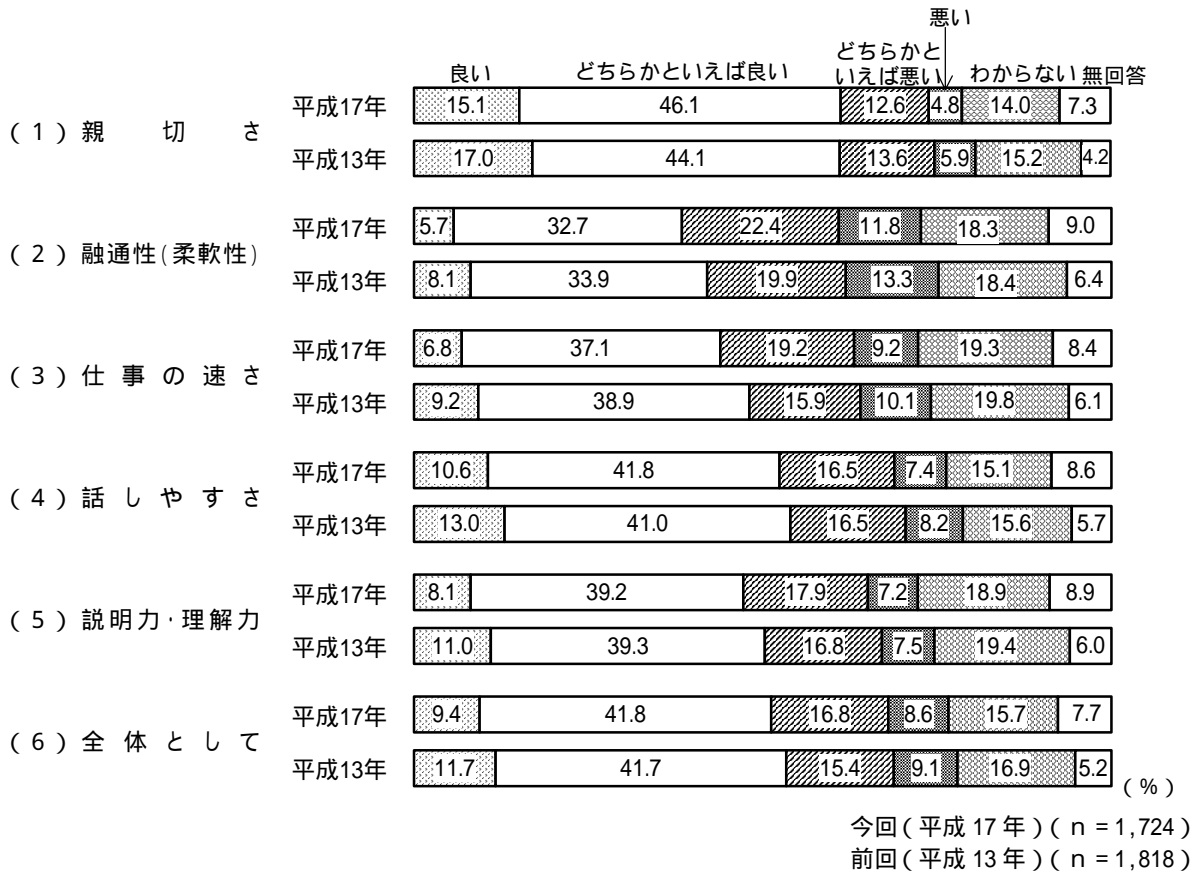
図 8 - 14 - 1 市役所職員の対応評価



【過年度比較】

前回の「入間市市民意識調査」の結果と比較すると、「良い」はすべての項目で2ポイントから3ポイント減少している。『良い(計)』で見ると、(1)親切さを除く5項目で2ポイントから4ポイント減少しており、評価が厳しくなっていることがわかる。(図8-14-2)

図8-14-2 市役所職員の対応評価 - 過年度比較

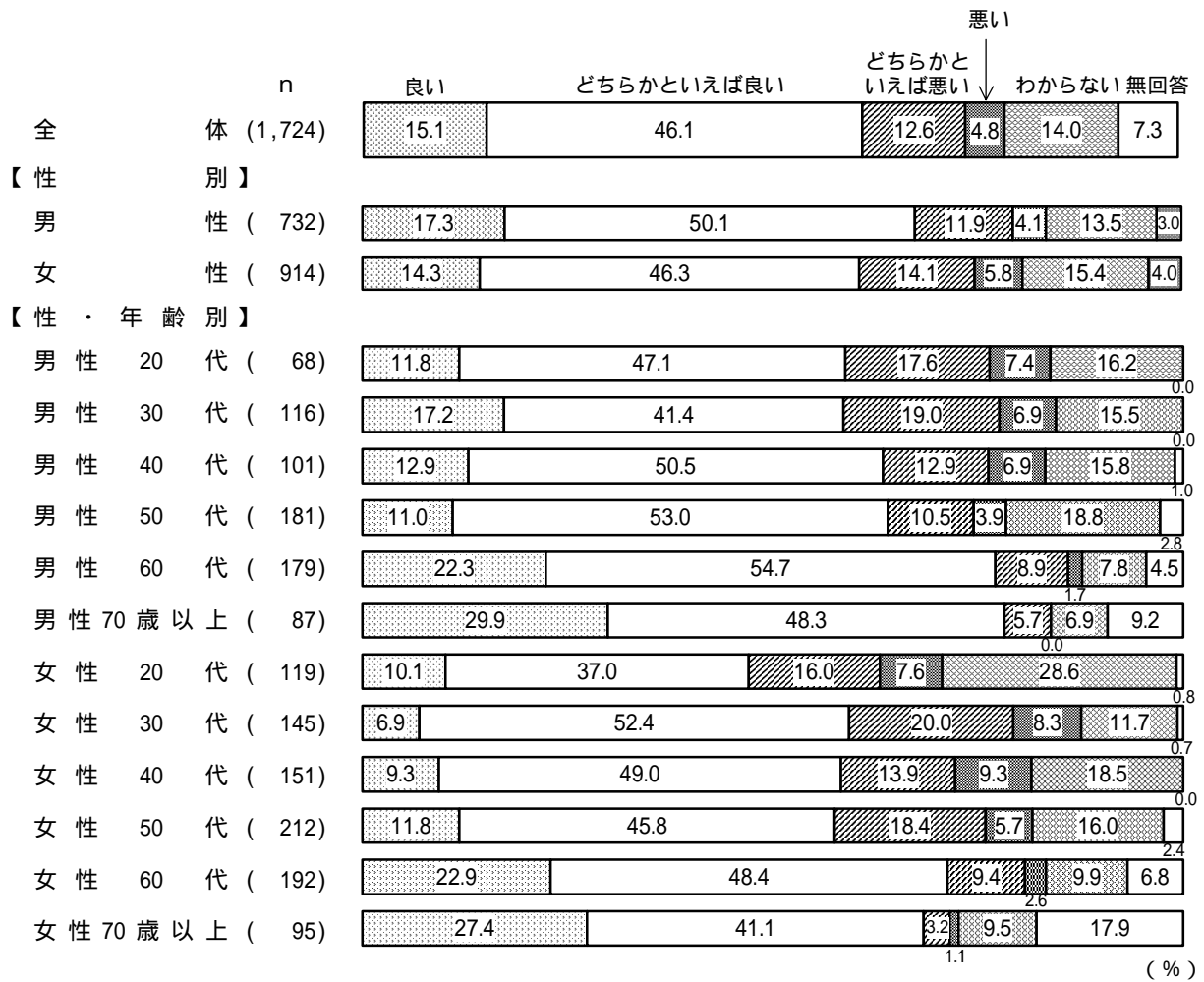


(1) 親切さ / 属性分析 (図 8 - 14 - 3)

【性別】『良い(計)』でみると、男性の方が7ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「良い」は男女とも70歳以上で3割近くを占め、60代でも2割を超えている。『良い(計)』でみると、男性60代以上の年代で8割近くを占め、女性60代以上の年代でも7割前後を占めている。

図 8 - 14 - 3 市役所職員の対応評価 (1) 親切さ - 属性別



(2) 融通性(柔軟性) / 属性分析 (図8-14-4)

【性別】『良い(計)』でみると、男性の方が3ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「良い」は男性70歳以上(16.1%)で1割半ばを占めている。『良い(計)』で見ると、男性60代以上の年代で5割前後を占めている

図8-14-4 市役所職員の対応評価(2) 融通性(柔軟性) - 属性別



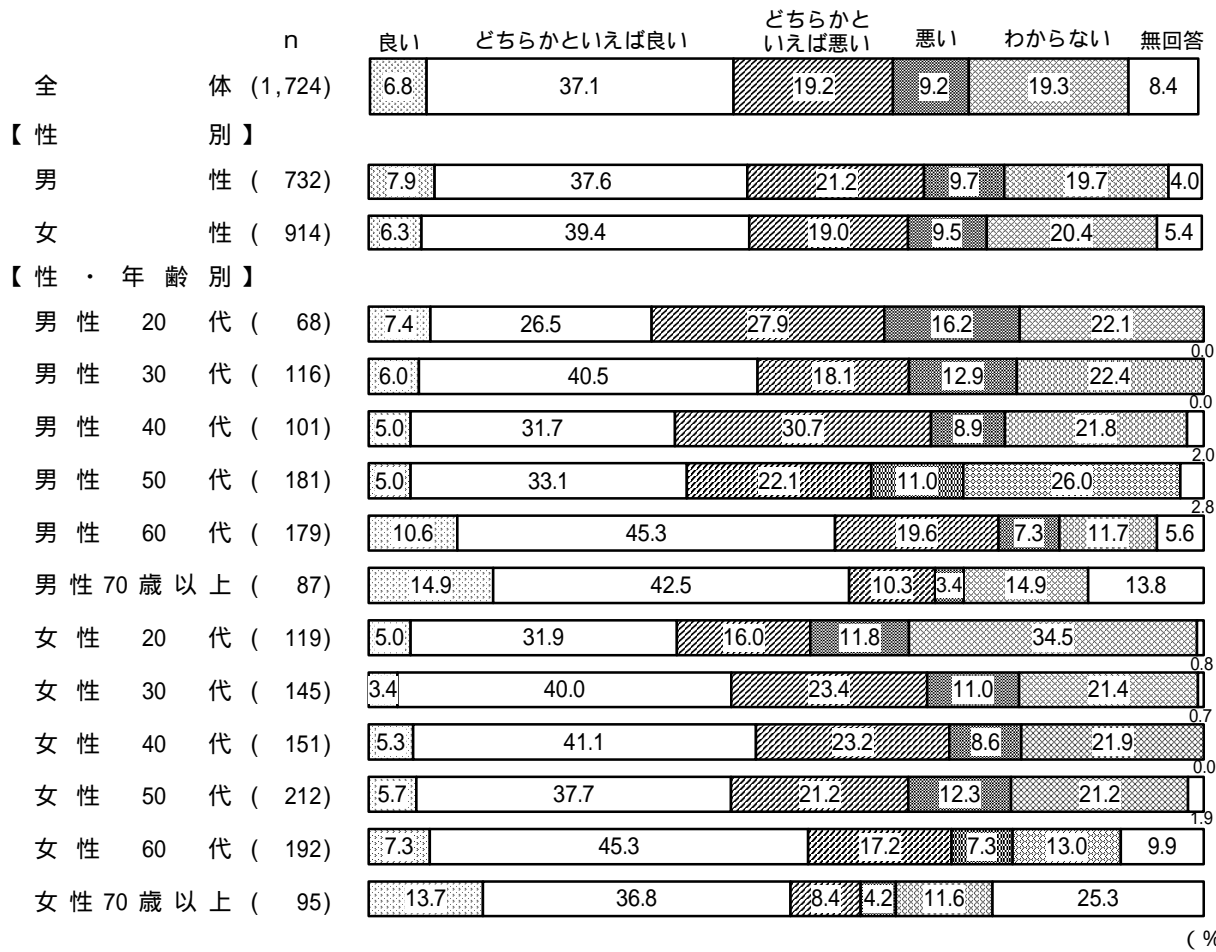
(%)

(3) 仕事の速さ / 属性分析 (図8-14-5)

【性別】男女とも同じ傾向になっている。

【性・年齢別】「良い」は男女とも70歳以上で1割半ばを占めている。『良い(計)』でみると、男性70歳以上で6割近くを占め、男性60代と女性60代以上の年代でも5割を超えている。

図8-14-5 市役所職員の対応評価(3)仕事の速さ-属性別

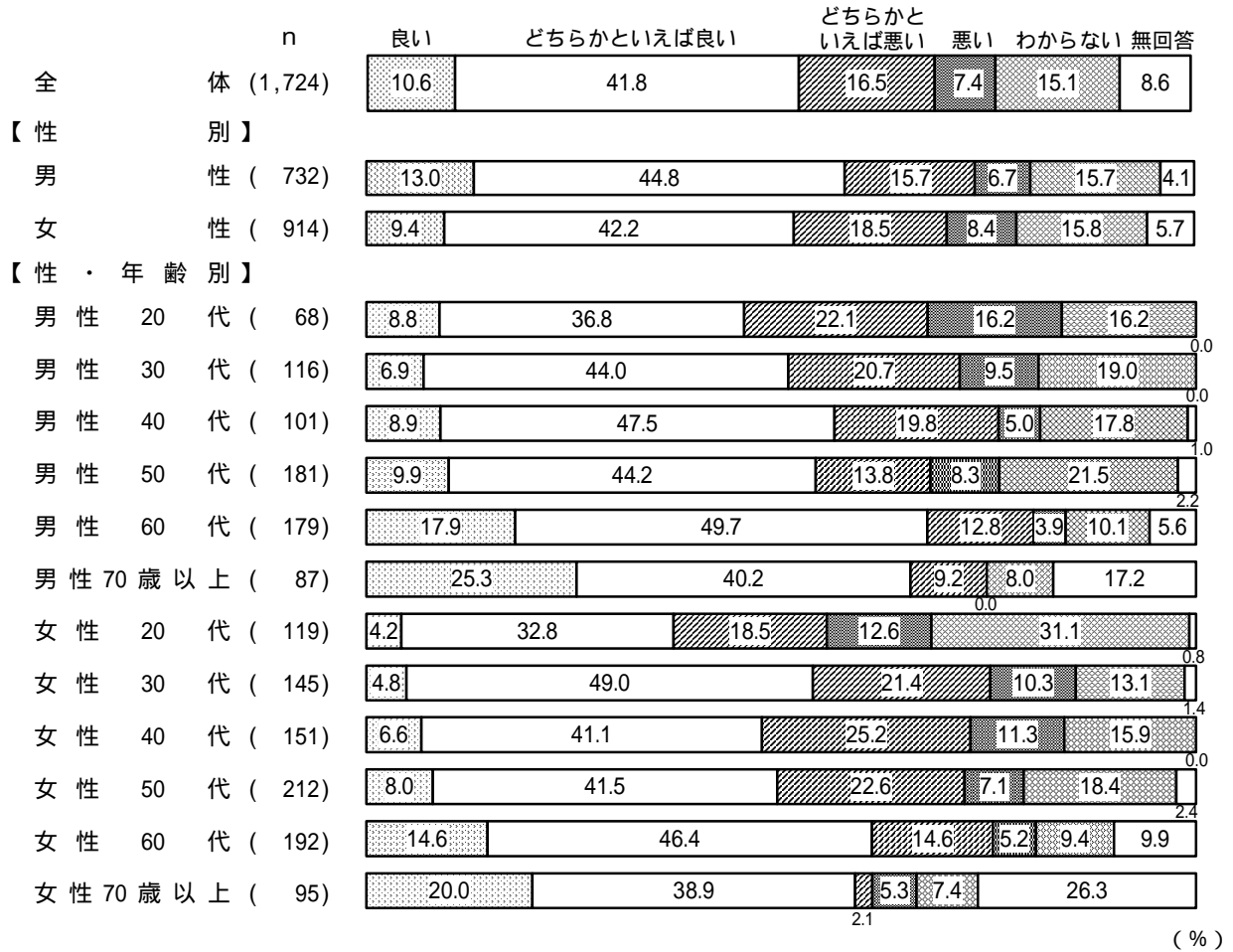


(4) 話しやすさ / 属性分析 (図8-14-6)

【性別】「良い」は男性の方が4ポイント高く、『良い(計)』でみると、男性の方が6ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「良い」は男性70歳以上(25.3%)で2割半ばを占めて多く、女性70歳以上(20.0%)でも2割を占めている。『良い(計)』でみると、男性60代以上の年代で7割近くを占め、女性60代以上の年代でも6割前後を占めている。

図8-14-6 市役所職員の対応評価(4)話しやすさ - 属性別

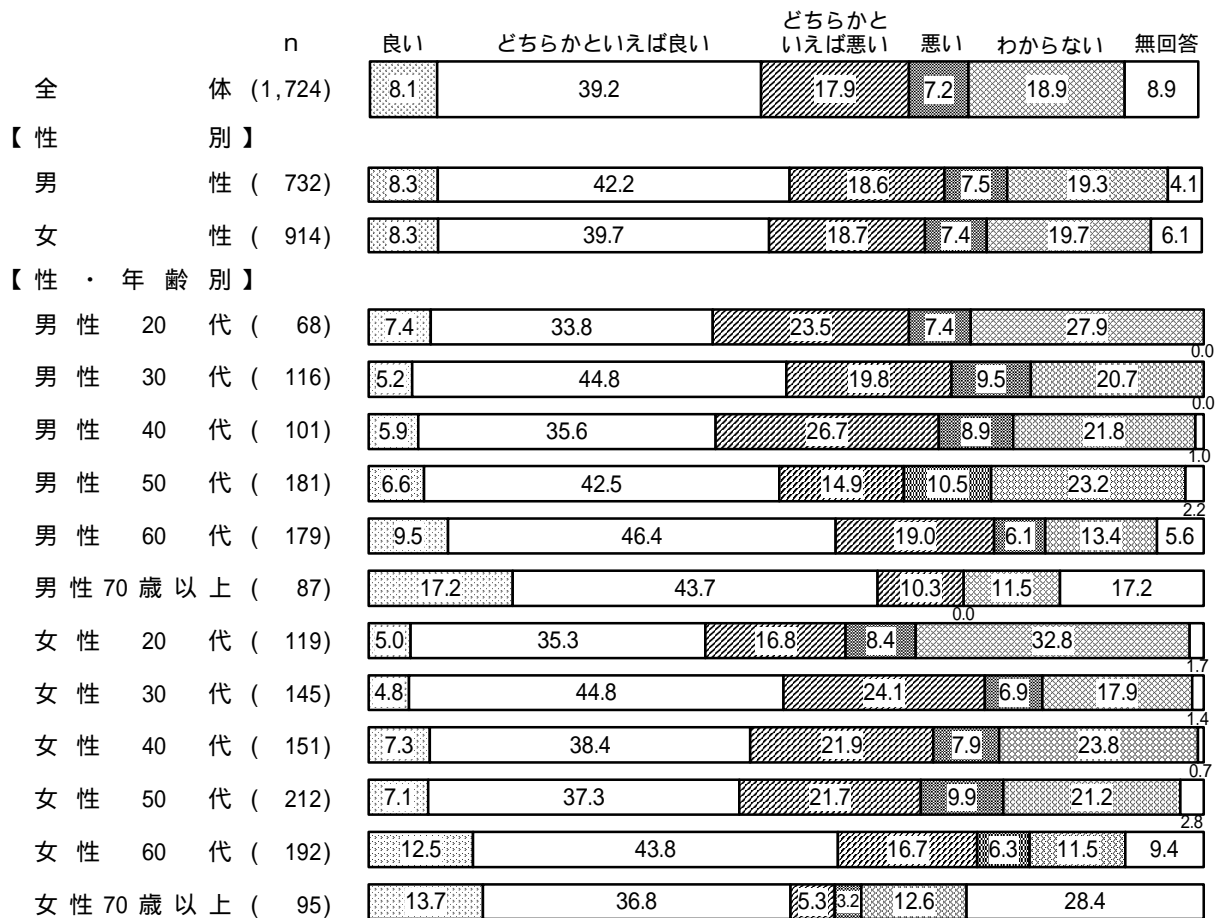


(5) 説明力・理解力/属性分析(図8-14-7)

【性別】『良い(計)』でみると、男性の方が3ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「良い」は男性70歳以上(17.2%)で2割近くを占めている。『良い(計)』で見ると、男性70歳以上(60.9%)でほぼ6割近くを占め、男女とも60代でも5割半ばを占めている。

図8-14-7 市役所職員の対応評価(5)説明力・理解力-属性別



(%)

(6) 全体として / 属性分析 (図8 - 14 - 8)

【性別】『良い(計)』でみると、男性の方が3ポイント高くなっている。

【性・年齢別】「良い」は男性70歳以上(25.3%)で2割半ば占めて多く、女性70歳以上(20.0%)でも2割を占めている。『良い(計)』でみると、男性70歳以上(72.4%)の年代で7割を超え、男性60代と女性60代以上の年代でも6割以上を占めている。

図8 - 14 - 8 市役所職員の対応評価(6)全体として - 属性別

